TOSHIBA
Leading Innovation >>>

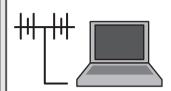
3 映像と音楽を楽しもう
TV/CD/DVDの使いかた

パソコンでテレビを楽しもう

STEP 1 テレビを見る準備をする

参照 P.17〜

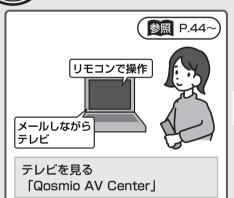
1.地上デジタル放送を利用するには、パソコンにB-CASカードをセットします。

2.テレビアンテナの接続
テレビアンテナをパソコンに接続します。

3.リモコンの準備
リモコンに電池を取り付けます。

4.チャンネルを設定する
「Qosmio AV Center」

STEP 2 テレビを見る

参照 P.44〜

テレビを見る
「Qosmio AV Center」

STEP 3 テレビ番組を録画する

参照 P.48〜

ハードディスクに録画する
「Qosmio AV Center」

- 録画する準備
- 録画する
- 録画した番組を見る

STEP 4 録画データをDVDに保存する

参照 P.64〜

オリジナルDVDの
完成！

地上デジタル放送の映像をDVDに保存する
「Qosmio AV Center」

STEP 5 DVDの映画や映像を見る

参照 P.98〜

DVDを見る
「TOSHIBA DVD PLAYER」

映像・音楽・デジタルカメラの写真を楽しもう

映像を編集してDVDに残す

参照 P.73〜

「DVD MovieWriter for TOSHIBA」

オリジナルDVDの完成！

デジタルビデオカメラで撮影した映像を、パソコン上で編集し、DVDに保存できます。

音楽を聴く

参照 P.100〜

「Windows Media Player」

ただ聴くだけでなく、複数の音楽CDやオーディオ機器から曲を集めて、好きな順番で再生することもできます。

オリジナル音楽CDを作る

参照 P.104〜

「TOSHIBA Disc Creator」

複数の音楽CDやオーディオ機器から好きな曲を集めて、自分だけのオリジナル音楽CDを作成できます。

デジタルカメラの写真を閲覧する

参照 P.118〜

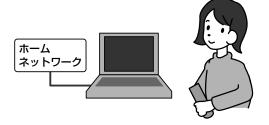
「Corel Snapfire Plus SE」

デジタルカメラで撮った写真をパソコン上で管理し、閲覧することができます。

CD／DVDにコピーする
「TOSHIBA Disc Creator」

ホームネットワークを楽しむ

参照 P.121〜

「CyberLink SoftDMA for TOSHIBA」*

ホームネットワークに接続している、HDD&DVDレコーダで録画した番組や、ほかのパソコンにあるビデオなどのファイルを、本製品で楽しむことができます。

映像や音楽を楽しむ

参照 P.125〜

「Windows Media Center」

CD／DVDの音楽・映像、デジタルカメラで撮った写真などを1つの入り口からリモコンを使って楽しめます。

もくじ

はじめに

本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、付属の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。本書は次の決まりに従って書かれています。

1 記号の意味

記号	意味
⚠警 告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠注 意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定されること”を示します。
お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
＊＊＊＊＊のみ	一部のモデルにのみ該当する操作を示します。 「＊＊＊＊＊」には、「用語について」で定義されたシリーズ名、モデル名が入ります。
▼＊＊＊＊＊のみ ▲＊＊＊＊＊のみ	一部のモデルにのみ該当する記述の範囲を示します。 「＊＊＊＊＊」には、「用語について」で定義されたシリーズ名、モデル名が入ります。
メモ	知っていると便利な内容を示します。
役立つ操作集	知っていると役に立つ操作を示します。
参照	このマニュアルやほかのマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合…「　」 ほかのマニュアルへの参照の場合…『　』 パソコンで見るマニュアルなどへの参照の場合…《　》 《パソコンで見るマニュアル（検索）：XXXX》と書いている場合、《パソコンで見るマニュアル》の［キーワード検索］に「XXXX」を入力すると、目的のページを検索できます。 パソコンで見るマニュアルにはさまざまな情報が記載されています。

＊1　重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

＊2　傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

＊3　物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

2 用語について

本書では、次のように定義します。

Windows Vista

Windows Vista® Home Premium を示します。

パソコンで見るマニュアル

パソコン上で見ることのできる、電子マニュアル「パソコンで見るマニュアル」を示します。
デスクトップ上の［おたすけナビ］アイコンをダブルクリック→［パソコンで見るマニュアル］タブの［パソコンで見るマニュアルTOP］ボタンをクリックして起動します。

ドライブ

DVDスーパーマルチドライブを示します。

参照 詳細について『いろいろな機能を使おう 1章 4 CDやDVDを使う』

ダブル地デジモデル

地上デジタル放送対応のTVチューナが2つ内蔵されているモデルを示します。

地デジモデル

地上デジタル放送対応のTVチューナが1つ内蔵されているモデルを示します。

Intel製グラフィックモデル

インテル®チップセットにグラフィックアクセラレータが内蔵されているモデルを示します。

NVIDIA製グラフィックモデル

NVIDIA製グラフィックアクセラレータが搭載されているモデルを示します。

TOSHIBA Quad Core HD Processor内蔵モデル

「TOSHIBA Quad Core HD Processor"SpursEngine"」が内蔵されているモデルを示します。

G50シリーズ

dynabook Qosmioシリーズで、モデル名が「G50」または「G50W」で始まるモデルを示します。

F50シリーズ

dynabook Qosmioシリーズで、モデル名が「F50」または「F50W」で始まるモデルを示します。

ご購入のモデルのシリーズ名、モデル名については、別紙の『dynabook ＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を確認してください。

3 記載について

- 記載内容には、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は、「用語について」のモデル分けに準じて、「＊＊＊＊シリーズのみ」などのように注記します。
- アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは内蔵ハードディスクや付属のCD／DVDからインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
- 本書に記載している画面やイラストは、地上デジタル放送対応のTVチューナが1つ内蔵された、地デジモデルを対象にしています。また、すべての画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。

4 Trademarks

- Microsoft、Windows、Windows Media、Windows Vista、Aeroは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- CyberLink、SoftDMAは、CyberLink Corp.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- TRENDMICRO、ウイルスバスターはトレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- デジタルアーツ/DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター/i-フィルターはデジタルアーツ株式会社の登録商標です。
- Corel、Corelのロゴ、Ulead、Uleadロゴ、DVD MovieWriterは、Corel Corporationおよびその関連会社の商標または登録商標です。
- メモリースティックはソニー株式会社の商標です。
- xD-ピクチャーカード™は、富士写真フイルム株式会社の商標です。
- i.LINKは商標です。
- HDMI およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLC. の登録商標または商標です。
- W録、おたすけナビは、株式会社東芝の登録商標または商標です。
- 「Qosmio AV Center」は、ドルビーデジタルオーディオ符号化システムを使用しています。ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの登録商標です。
- iPodは、米国および他の国々で登録されたApple Inc. の登録商標です。
- YouTube、YouTubeロゴはGoogle Inc. の登録商標です。

本書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

5 バックアップについて

ハードディスクや記録メディアに保存しているデータは、万一故障が起きた場合や、変化／消失した場合に備えて、定期的にバックアップをとって保存してください。
ハードディスクや記録メディアに保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いません。
なお、地上デジタル放送の録画データは、「Qosmio AV Center」のコピー／移動（ムーブ）機能でDVD-RAMにデータを保存する場合を除き、バックアップをとることができません。
バックアップについて、詳しくは『準備しよう 4章 大切なデータを失わないために』を参照してください。

6 著作権について

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。
- 「Qosmio AV Center」で録画されたテレビ番組などは、個人で楽しむ目的だけに使用できます。

7 リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。
必ずお読みください。次の操作を行うと表示されます。

① [スタート] ボタン（ ）→ [すべてのプログラム] → [はじめに] → [リリース情報] をクリックする

8 アナログ放送からデジタル放送への移行について

- デジタル放送への移行スケジュール
  地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。
  今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められております。
- 地上デジタル放送の開始にともない、現在の地上アナログ放送のチャンネルが変更される場合があります。

9 ダビング10の番組について

「ダビング10」の番組とは、本製品のハードディスクに録画したとき、CPRM対応のDVDメディアなどに、10回のダビング（9回のコピーと1回の移動（ムーブ））ができるデジタル放送の番組のことです。
移動（ムーブ）した場合、本製品のハードディスクから番組は自動的に消去されます。

- 本製品は「ダビング10」に対応しています。
- すべてのデジタルテレビ放送がダビング10になるわけではありません。

10 コピーワンスについて

2004年4月1日より、NHKや民放連の地上／BSデジタル放送には、著作権保護の目的から、「コピーワンス」という1回だけ録画が可能になるコピー制御信号が加えられています。コピーワンスの番組は内蔵HDD、もしくはDVDなどCPRM（Content Protection for Recordable Media）規格などで保護された記録メディアにのみ記録することができます。また、一度記録された番組をコピーすることはできません。

11 テレビアンテナを接続する前に

IEC60950-1/EN60950-1 Information technology equipment - Safety -

- 本製品にはテレビチューナが内蔵されています。
  本製品内蔵のTVチューナは地上デジタル放送用のものですので、地上アナログ放送／BS／CSデジタル放送用のアンテナを接続して、番組を受信・視聴・録画することはできません。
  CATV（ケーブルテレビ）を利用する場合には、事前にCATV事業者へケーブルシステムが確実に保護接地されていることを確認してください。

12 ワイド画面における画面の引き伸ばしについて

1. 本製品は、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご注意の上、画面モードをお選びください。
2. 本製品を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面モード切り換え機能等を利用して、画面の引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意願います。

13 お願い

- 本製品の内蔵ハードディスクにインストールされている、または付属のCD／DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- 内蔵ハードディスクにインストールされている、または付属のCD／DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- 本書に記載している各お問い合わせ先は、2009年3月現在の情報です。各社の事情で受付時間などが変更になることがあります。

14 ［ユーザー アカウント制御］画面について

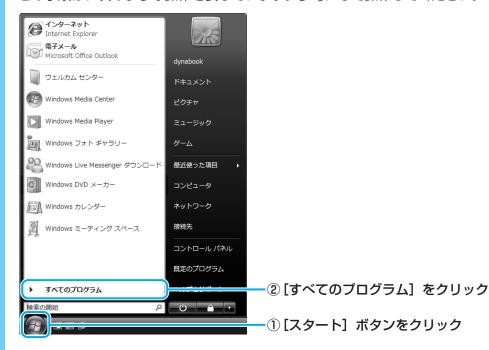
操作の途中で［ユーザー アカウント制御］画面が表示された場合は、そのメッセージを注意して読み、開始した操作の内容を確認してから、［続行］または［許可］ボタンをクリックしてください。
パスワードの入力を求められた場合は、管理者アカウントのパスワードで認証を行ってください。

15 アプリケーションの起動について

本書では、アプリケーションの起動手順の記載を簡略化して次のように記載しています。

❏「メモ帳」を起動する場合の例

1 **［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［メモ帳］をクリックする**

この手順は、次のような操作を表しています。参考にして操作してください。

［スタート］メニューの左側の部分が［すべてのプログラム］の一覧に切り替わります。

③スクロールバーをドラッグし、起動するアプリケーションを探す

スクロールバーをドラッグすると、［すべてのプログラム］の一覧がスクロールされます。目的のアプリケーションを探してください。左側のアイコンがフォルダ（　）の場合は、クリックするとフォルダ内の一覧が開きます。

④［アクセサリ］をクリック

⑤［メモ帳］をクリック

「メモ帳」が起動します。

役立つ操作集

「東芝サービスステーション」

「東芝サービスステーション」は、ソフトウェアのアップデートや重要なお知らせを自動的に提供するソフトウェアです。

「東芝サービスステーション」を使用するには、インターネットに接続できる環境が必要です。

参照 「東芝サービスステーション」について
『準備しよう 1章 3 Windowsを使えるようにする』

Qosmio AV Centerとは

「Qosmio（コスミオ） AV（エーブイ） Center（センター）」は、テレビを見る／録画する機能のほか、映像を見る、音楽を聴くといったエンターテイメントへの入り口を1つにまとめた、Windows用のアプリケーションです。

「Qosmio AV Center」でテレビを見たり録画する前に、「付録 1-8 「Qosmio AV Center」の使用にあたって」をよくお読みください。

❏「Qosmio AV Center」（テレビ）でできること

「Qosmio AV Center」のおもな機能は次のとおりです。

3つのナビ画面で、番組表の確認、テレビ録画の録画予約、再生などが簡単に行えます。

番組ナビ（リモコンモード）

録るナビ（リモコンモード）

見るナビ（リモコンモード）

参照先は、表外の「■ 参照先」を確認してください。

＊ 本製品では、地上デジタル放送のみ視聴できます。

機　能	ダブル地デジモデル	地デジモデル	参照先
テレビを見る	○	○	1
TVチューナ「地上D1」と「地上D2」を切り替える	○	－	1
音声多重放送のテレビを見る	○	○	2
画面の表示サイズを切り替える	○	○	2
字幕放送を見る	○	○	2
音声を切り替える	○	○	2
データ放送を楽しむ	○	○	2
録画する	○	○	1・3
1番組を録画する	○	○＊1	1
1番組を録画中に、ほかの番組を見る	○	－	1
2番組を同時に録画する	○＊1	－	1・3
電子番組表を使って録画予約する	○	○	3
電子番組表で検索する	○	○	2

＊1　録画中のチャンネル以外は視聴できません。

機　能	ダブル地デジモデル	地デジモデル	参照先
おすすめサービスを利用する	△*2	△*2	3
番組延長録画	○	○	2
「録るナビ」で録画予約した内容を管理する	○	○	2
マニュアルで録画予約する	○	○	2
メールで録画予約する	○	○	2
録画した番組を再生する	○	○	4
早見早聞	○	○	4
早戻し再生・早送り再生	○	○	2
スロー再生	○	○	2
ワンタッチリプレイ・ワンタッチスキップ	○	○	2
番組の頭出し	○	○	2
番組の終端へジャンプする	○	○	2
CMと本編の境にジャンプする*3	○	○	2
レジューム機能	○	○	2
録画番組のファイルを保護する	○	○	2
人の顔から見たいシーンを探す*3	○	○	5

＊2「おすすめサービス」の画面で表示される番組に地上デジタル放送にて放送される番組の候補がある場合、地上デジタル放送の番組を録画予約をすることができます。

＊3 TOSHIBA Quad Core HD Processor内蔵モデルのみ

■参照先

1：「2章 1-2 テレビを見る・録画する」
2：「Qosmio AV Center」のヘルプ
3：「2章 2 テレビ番組を録画予約する」
4：「2章 1-3 録画した番組を再生する」
5：「4章 5 見たい人物が登場するシーンを探したい」

- 「Qosmio AV Center」では、テレビ以外にも、映像や音楽の機能などを楽しむことができます。詳しくは次の参照先を確認してください。
  「Qosmio AV Center」のヘルプ
  「2章 3 録画した番組をDVDに保存する」
  「4章 1-1 TOSHIBA DVD PLAYERで見る」
  「4章 4-1 Qosmio AV Centerの映像を調整する」

❏「Qosmio AV Center」の画面モード

「Qosmio AV Center」には、おもに、起動時に表示される「ホーム画面」、リモコンで操作する「リモコンモード」、タッチパッドやマウスで操作する「マウスモード」、プレイヤー画面（テレビや録画番組を見る画面）部分だけを最前面に表示する「ながら見モード」の4種類の画面モードがあります。起動時は、ホーム画面が表示されます。必要に応じて切り替えて使用します。

● ホーム画面

● リモコンモード画面（見るナビ）

リモコンの［画面モード］ボタンを押す、または各ナビ画面右上の［マウスモード］をクリックするとマウスモードに切り替わります。

● マウスモード画面

リモコンの［画面モード］、または［番組ナビ］［録るナビ］［見るナビ］ボタンを押すと、リモコンモードに切り替わります。

クリックすると、ながら見モードに切り替わります。

● ながら見モード画面

または マウスモード

クリックすると、マウスモードに切り替わります。

または 全画面

マウスモード、ながら見モードでクリックすると、テレビや録画番組を見る画面が全画面表示に切り替わります。

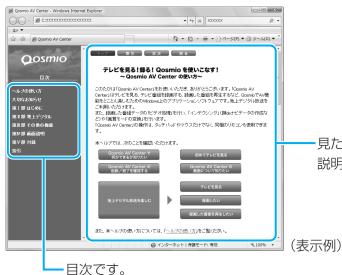
ヘルプの起動方法

「Qosmio AV Center」の機能や使いかたについて、詳しくは、「Qosmio AV Center」のヘルプを確認してください。

1 マウスモード、ながら見モードのときに、[?]をクリックする

● マウスモード

● ながら見モード

ヘルプが起動します。

見たい内容をクリックすると、説明が表示されます。

（表示例）

目次です。

メモ

● [F1]キーを押すと、すべてのモードのときに、ヘルプを起動できます。

「Qosmio AV Center」のお問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

東芝PCあんしんサポートの連絡先は、裏表紙を参照してください。

1 章

テレビを見る準備をする

テレビを見るための準備について説明しています。

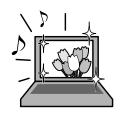
1 地上デジタル放送について

本製品の「Qosmio AV Center」では、地上デジタル放送をご利用いただけます。

地上デジタル放送の特長は？

従来のアナログ放送に比べて、次の特長があります。

- HD（High Definition）放送を中心とした、高画質・高音質
- 地上デジタル放送で提供されている電子番組表
- データ放送
- 視聴者参加型のクイズ番組などの双方向通信サービス

など

地上デジタル放送を受信するのに必要なものは？

- B-CASカード（本製品に付属）
- 地上デジタル放送に対応したUHFアンテナ

＊地上デジタル放送送信局の送信アンテナの方向に向ける必要があります。
＊地上デジタル放送は、地域や時期により放送されていない場合があります。

地上デジタル放送の録画において、規制はあるの？

番組によって、録画できるものとできないものがあります。また「コピーワンス」（1回だけ録画が可能）または「ダビング10」（録画番組は、9回のコピーと1回の移動（ムーブ）が可能）のコピー制御信号が加えられているため、本製品では、内蔵ハードディスクにのみ録画することができます。DVDメディアなどに直接書き込むことなどはできません。

地上デジタル放送の2つの番組が同時に録画できる！

＊ダブル地デジモデルのみ

地上デジタル放送の時間帯の重なる2つの番組を、同時に録画／録画予約することができます。

また、地上デジタル放送の1つの番組を録画しているときに、地上デジタル放送のほかのチャンネルの番組を見ることができます。

地上デジタル放送を見るために

お住まいの地域で地上デジタル放送が開始されている場合に、見ることができます。
ただし、受信障害がある環境では、放送エリア内でも受信できない場合があります。
詳しくは、アンテナの販売店や社団法人デジタル放送推進協会のホームページ(http://www.dpa.or.jp)、総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター（ナビダイヤル0570-07-0101 平日：午前9時〜午後9時、土曜・日曜・祝祭日午前9時〜午後6時）などにお問い合わせください。
地上デジタル放送を見るためには、地上デジタル放送の受信に対応した設備が必要になります。

■個人住宅など、アンテナで直接受信している場合

地上デジタル放送を見るためには、地上デジタル放送の受信に対応したUHFアンテナを設置し、地上デジタル放送送信局の送信アンテナの方向に向ける必要があります。
このため、VHF受信用アンテナのみ設置されている場合は、新規に地上デジタル放送用のUHFアンテナが必要となります。また、アナログ放送対応のUHFアンテナでは、受信できない場合があります。

■マンションやアパートなど、集合住宅にお住まいの場合

現在、UHF放送を受信している設備があれば基本的には受信可能です。
ただし、地上デジタル放送の受信に対応した共同受信用アンテナの設置や、市販のアンテナブースタやアッテネータの使用、アンテナの向きの変更が必要になる場合があります。
詳しくは、お住まいの管理組合または設備維持管理会社等にお問い合わせください。

■ケーブルテレビで受信している場合

地上デジタル放送を配信しているケーブルテレビでは、地上デジタル放送を見ることができます。
詳しくは、ご加入または最寄りのケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

2 B-CASカードをセットする

パソコンで地上デジタル放送を見るためには、パソコンにB-CAS(ビーキャス)カードをセットします。
B-CASカードのセットと取りはずし方法は、モデルによって異なります。

1 B-CASカードについて

- パソコンにB-CASカードをセットしないと、地上デジタル放送の視聴や、その他の放送サービスを受けることができません。
- 本製品専用のB-CASカードをセットしてください。
- B-CASカードの所有権は、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（略称：B-CAS）に帰属します。
- はがきまたはWebによるユーザ登録をおすすめします（登録は任意で無料です）。
  B-CASカードの登録や取り扱いの詳細は、カードが貼ってある台紙をご覧ください。
- 次のような場合は、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（カードが貼ってある台紙を参照）にご連絡ください。
  - ・紛失した
  - ・盗まれた
  - ・破損した
  - ・汚れた
- 紛失したB-CASカードを再発行する場合は、再発行費用がかかります。
- パソコン本体を廃棄する場合は、セットしたB-CASカードをパソコンから取り出し、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにカードを返却してください。
  パソコンの廃棄については、『東芝PCサポートのご案内』と『準備しよう 6章 お客様登録と廃棄／譲渡について』を参照してください。

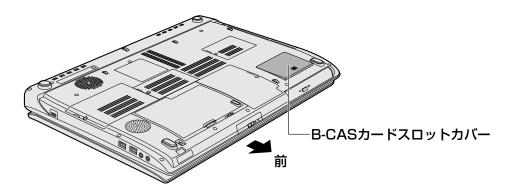
お願い B-CASカードについて

- あらかじめ、「付録 1-4 B-CASカードについて」を確認してください。

2 B-CASカードをセットする －G50シリーズ－

B-CASカードの取り付け、取りはずしを行う場合は、あらかじめデータを保存し、Windowsを終了させて電源を切ります。
それから、パソコン本体からACアダプタと周辺機器のケーブル類をはずして、ディスプレイを閉じ、パソコン本体を裏返してください。
パソコン本体裏面に、B-CASカードスロットがあります。

B-CASカードスロットの位置を確認する

B-CASカードスロットは、パソコン本体裏面のB-CASカードスロットカバーをはずしたところにあります。

B-CASカードをセットする

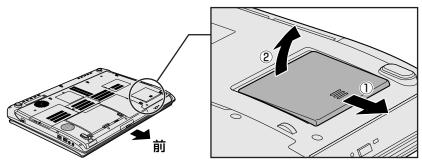
1 B-CASカードを台紙から取りはずす

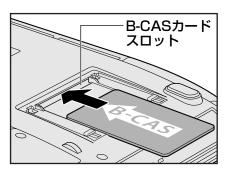
台紙には、「使用許諾契約約款」が記載されていますので、ご使用前に必ず記載内容をご確認ください。

2 B-CASカードの番号を確認する

カードの裏面にバーコードとB-CASカードの番号が記載されています。

3 B-CASカードスロットカバーをはずす

B-CASカードスロットカバーを矢印の方向に押してスライドし①、くぼみに指をかけて、B-CASカードスロットカバーを持ち上げてはずします②。

4 B-CASカードに印刷されている「B-CAS」のロゴが見えるように上にしてからB-CASカードの示す矢印の方向に合わせ、B-CASカードをB-CASカードスロットの奥まで差し込む

B-CASカードは、前後や表裏を確認して差し込んでください。手順と異なる向きで差し込まないでください。

（G50シリーズの場合）

5 B-CASカードが正しく差し込まれていることを確認する

（G50シリーズの場合）

上の図のようにB-CASカードがスロットの一番奥まで差し込まれていることを確認してください。正しくカードが差し込まれていないと、地上デジタル放送を受信できません。また、B-CASカードスロットカバーを取り付ける際に、B-CASカードが破損するおそれがあります。

6 B-CASカードスロットカバーを取り付ける

B-CASカードスロットの数ミリ手前にB-CASカードスロットカバーを置き、「カチッ」と音がするまで静かに差し込んでください。

役立つ操作集

B-CASカードをセットしたあと、カード番号を忘れてしまった場合は、「Qosmio AV Center」の［B-CASカード情報］画面で確認することができます。また、B-CASカードが正しくセットされていないと、［カードテスト結果］に「NG」が表示されますので、カードがセットされている状態についても確認できます。
詳しい操作手順については、「Qosmio AV Center」のヘルプを参照してください。

B-CASカードの取りはずし

本製品を廃棄する場合は、次の手順でB-CASカードをB-CASカードスロットから取りはずし、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ(略称:B-CAS)にカードを返却してください。
地上デジタル放送視聴時は、取りはずさないでください。

参照 B-CASカードの返却『準備しよう 6章 2 捨てるとき／人に譲るとき』

1 B-CASカードスロットカバーをはずす

取りはずし方法は、「本項 - B-CASカードをセットする」の手順 3 を確認してください。

2 B-CASカードを引き抜く

まっすぐ静かに引き抜きます。

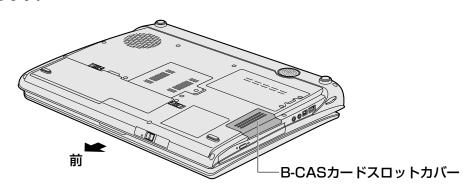
3 B-CASカードスロットカバーを取り付ける

B-CASカードスロットの数ミリ手前にB-CASカードスロットカバーを置き、「カチッ」と音がするまで静かに差し込んでください。

3 B-CASカードをセットする －F50シリーズ－

B-CASカードの取り付け、取りはずしを行う場合は、あらかじめデータを保存し、Windowsを終了させて電源を切ります。
それから、パソコン本体からACアダプタと周辺機器のケーブル類をはずして、ディスプレイを閉じ、パソコン本体を裏返してください。
パソコン本体裏面に、B-CASカードスロットがあります。

B-CASカードスロットの位置を確認する

B-CASカードスロットは、パソコン本体裏面のB-CASカードスロットカバーをはずしたところにあります。

B-CASカードをセットする

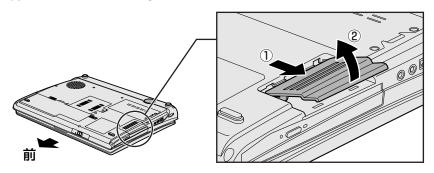
1 B-CASカードを台紙から取りはずす

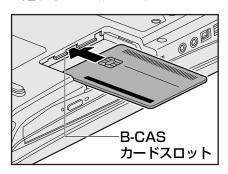
台紙には、「使用許諾契約約款」が記載されていますので、ご使用前に必ず記載内容をご確認ください。

2 B-CASカードの番号を確認する

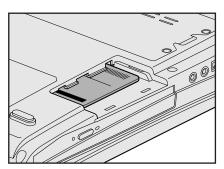
カードの裏面にバーコードとB-CASカードの番号が記載されています。

3 B-CASカードスロットカバーをはずす

B-CASカードスロットカバーを「カチッ」と音がするまで引き①、外側部分を斜めに持ち上げてはずします②。

4 B-CASカードに印刷されているバーコードが見えるように「B-CAS」のロゴを下にしてから金メッキ端子部を先頭にして、B-CASカードをB-CASカードスロットの奥まで差し込む

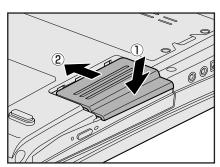
B-CASカードは、前後や表裏を確認して差し込んでください。手順と異なる向きで差し込まないでください。

（F50シリーズの場合）

5 B-CASカードが正しく差し込まれていることを確認する

正しく奥まで差し込まれると、B-CASカードが約25mm見えた状態となります。

（F50シリーズの場合）

上の図のようにB-CASカードがスロットの一番奥まで差し込まれていることを確認してください。正しくカードが差し込まれていないと、地上デジタル放送を受信できません。また、B-CASカードスロットカバーを取り付ける際に、B-CASカードが破損するおそれがあります。

6 B-CASカードスロットカバーを取り付ける

B-CASカードスロットの数ミリ手前にB-CASカードスロットカバーを置き①、「カチッ」と音がするまで静かに差し込んでください②。

役立つ操作集

B-CASカードをセットしたあと、カード番号を忘れてしまった場合は、「Qosmio AV Center」の［B-CASカード情報］画面で確認することができます。また、B-CASカードが正しくセットされていないと、［カードテスト結果］に「NG」が表示されますので、カードがセットされている状態についても確認できます。
詳しい操作手順については、「Qosmio AV Center」のヘルプを参照してください。

B-CASカードの取りはずし

本製品を廃棄する場合は、次の手順でB-CASカードをB-CASカードスロットから取りはずし、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（略称：B-CAS）にカードを返却してください。
地上デジタル放送視聴時は、取りはずさないでください。

参照 B-CASカードの返却『準備しよう 6章 2 捨てるとき／人に譲るとき』

1 B-CASカードスロットカバーをはずす

取りはずし方法は、「本項 - B-CASカードをセットする」の手順 3 を確認してください。

2 B-CASカードを引き抜く

まっすぐ静かに引き抜きます。

3 B-CASカードスロットカバーを取り付ける

B-CASカードスロットの数ミリ手前にB-CASカードスロットカバーを置き、「カチッ」と音がするまで静かに差し込んでください。

3 テレビアンテナを接続する

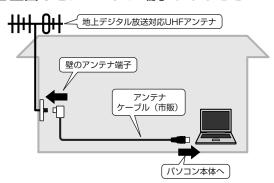
パソコンでテレビを見るには、テレビアンテナをパソコンに接続します。

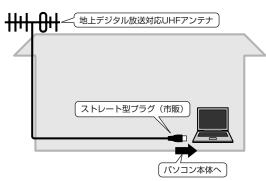
アンテナの種類を確認する

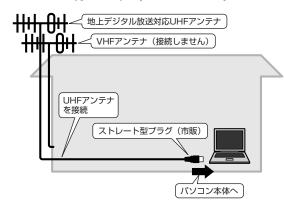
ご家庭のテレビアンテナ（アンテナ端子）の種類を確認してください。
地上デジタル放送を受信するには、地上デジタル放送に対応したUHFアンテナが必要です。

参照 「本章 1 地上デジタル放送について」

アンテナケーブルには、一方のプラグの形状が「ネジ型」になっているものがあります。「ネジ型」のアンテナケーブルは、接続できませんので、販売店などにご相談ください。

■壁面などにアンテナ端子があるとき

マンションなどで壁面にアンテナ端子だけがある場合は、市販のアンテナケーブルをお買い求めください。
これ以外にも壁側の端子とそれに適合するプラグの形状には、いくつかタイプがあります。販売店などにご相談ください。

■アンテナ線が1本（UHFのみ、またはUHF／VHF混合）のとき

アンテナ線の先端に市販のストレート型プラグを取り付け、接続します。
アンテナ線の先端に市販のストレート型プラグを取り付ける方法は、いくつかあります。
取り付ける方法は販売店などにご相談ください。

■アンテナ線が2本（UHFとVHF）のとき

地上デジタル放送を視聴するために、地上デジタル放送対応のUHFアンテナを接続してください。
アンテナ線の先端に市販のストレート型プラグを取り付け、接続します。
アンテナ線の先端に市販のストレート型プラグを取り付ける方法は、いくつかあります。取り付ける方法は販売店などにご相談ください。

参照 CATV（ケーブルテレビ）をご利用のお客様の場合
「本章 5-2 CATV（ケーブルテレビ）をご利用のお客様へ」

1 アンテナについて

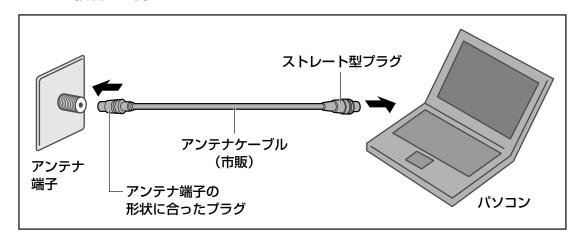
- 画像や音声の品質はアンテナの電波受信状況によって大きく左右されます。
- 電波の受信状態が悪いときは、テレビが正しく映らなくなりますので、アンテナの向きを調整したり、チャンネルを手動設定してチャンネルの調整を行ってください。それでもテレビが映らない場合は、市販のアンテナブースタやアッテネータを使用することで改善する場合があります。詳しくは販売店またはアンテナ工事業者にご相談ください。

テレビ機能を使用する前に、「付録 1-1 大切な録画・録音・編集について」、「付録 1-2 テレビ視聴と録画について」、「付録 1-3 TVチューナに関するご注意」を、よくお読みください。

2 ケーブルの接続

パソコンのアンテナ入力端子とご家庭のテレビアンテナ（アンテナ端子）をケーブルで接続します。

■ケーブル接続の一例

メモ

- アンテナケーブルをパソコン以外の機器（テレビやビデオなど）にも接続したい場合は、市販の分配器を使い、アンテナケーブルを2つに分けます。また、テレビやビデオなどにアンテナ出力端子がある場合は、アンテナケーブルをテレビやビデオに接続し、テレビまたはビデオのアンテナ出力端子とパソコンを接続します。
  アンテナを分配すると、電波が弱くなります。このため、パソコンの画面がちらつくことや、テレビの映像にコマ落ちが著しく発生して、きれいに映らないことがあります。
  この場合は、市販のアンテナブースタを接続してください。詳しくはお近くの販売店または、アンテナ工事業者にご相談ください。

お願い テレビアンテナの接続について

- あらかじめ、「付録 1 - 5 テレビアンテナの接続について」を確認してください。

役立つ操作集

電波の調節をする場合

電波の弱い地域で、受信状態が悪い場合や、集合住宅などでTV電波を増幅していて、極端に電波が強い場合には、ご家庭のテレビアンテナ（アンテナ端子）に市販のアンテナブースタやアッテネータを接続してから、ケーブルを接続します。

1 アンテナケーブルの接続

⚠注 意

- アンテナがパソコン本体に接続されている間は、ACアダプタをパソコン本体に接続する落雷により感電するおそれがあります。

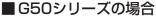
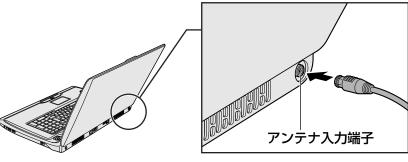
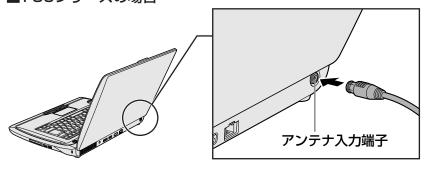
1 データを保存し、Windowsを終了させて電源を切る

参照 電源を切る『準備しよう 1章 4-2 電源を切る』

2 ACアダプタと電源コードを接続する

参照 接続方法『準備しよう 1章 3-2 電源コードとACアダプタを接続する』

3 アンテナケーブルのプラグをアンテナ入力端子に接続する

アンテナケーブルの芯線が折れないように、確認しながら接続してください。

■F50シリーズの場合

4 リモコンを使うには

リモコンを使って、離れた場所からパソコンの機能の一部を操作することができます。

1 リモコンについて

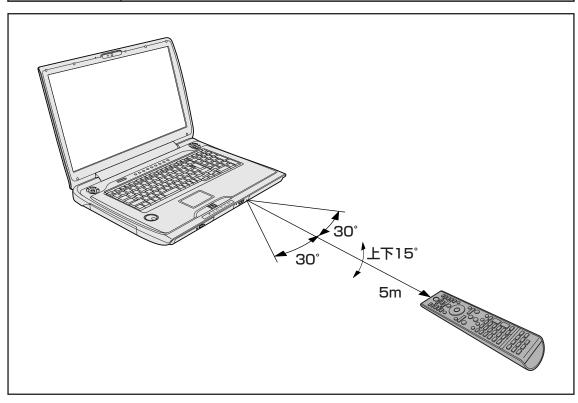
お願い **リモコンの操作にあたって**

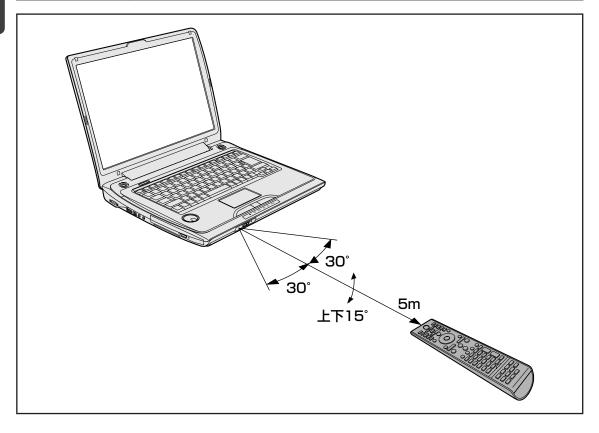
● あらかじめ、「付録 1 - 6 リモコンの操作にあたって」を確認してください。

❑ 使用範囲

パソコン本体に向けてリモコンの操作ボタンを押します。使用範囲は、次の距離と角度を目安にしてください。

■ G50シリーズの場合

距 離	リモコン受光窓正面より約5m以内
角 度	リモコン受光窓正面より左右約30度以内、上下に約15度以内

■F50シリーズの場合

距離	リモコン受光窓正面より約5m以内
角度	リモコン受光窓正面より左右約30度以内、上下約15度以内

❏ 使用時の注意

使用範囲内でも、次のような場合はリモコンが誤動作したり操作できない場合があります。

- パソコン本体とリモコンの間に障害物があるとき
- リモコン受光窓に直射日光や蛍光灯の強い光があたっているとき
- リモコン受光窓、またはリモコンの発光部が汚れているとき
- 本製品とリモコンが複数台あるとき
- 電池が消耗したとき

❏ リモコンの各ボタンの操作

リモコン操作については、《パソコンで見るマニュアル》や「Qosmio AV Center」のヘルプで、一覧表にまとめて説明していますので参照してください。

参照 「Qosmio AV Center」使用中のリモコン操作について
「Qosmio AV Center」のヘルプ、
《パソコンで見るマニュアル（検索）：Qosmio AV Centerでの操作一覧》

参照 その他のアプリケーション使用中のリモコン操作について
《パソコンで見るマニュアル（検索）：リモコン操作一覧》

2 電池の取り付け／取りはずし

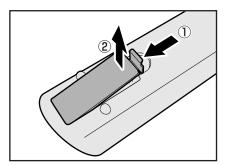
リモコンをご使用になる前に、付属の乾電池を取り付けてください。

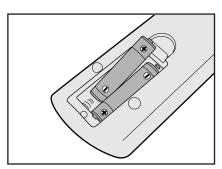
■使用できる乾電池

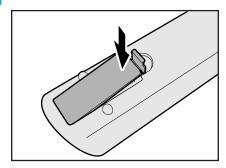
付属の乾電池が消耗した場合は、市販の電池（2本）と交換してください。使用できる電池は、単4形マンガン電池、単4形アルカリ電池です。その他の電池は使用できません。

1 取り付け／取りはずし

初めてリモコンを使用するときには、付属の乾電池を取り付けてください。
リモコンに使用している電池が消耗すると、リモコン操作ができなかったり、到達距離が短くなります。その場合は、使用できる乾電池をお確かめのうえ購入いただき、次のように電池を取りはずしてから、新しい電池を取り付けてください。

1 リモコン裏側の電池カバーを開ける

ツメ部分を矢印の方向に押しながら①、開けます②。

2 電池をセット／交換する

＋（プラス）、－（マイナス）をよく確認してセットしてください。

3 電池カバーを閉める

「カチッ」という音がするまで押してください。

メモ

- 長時間使用しないときは、電池を取りはずしてください。

5 チャンネル設定をする

初めてテレビを見る前に、テレビ映像を受信するチャンネル（放送局）をお住まいの地域に合わせて設定します。
本製品でテレビを見るには、「Qosmio（コスミオ） AV（エーブイ） Center（センター）」を使用します。

参照 「Qosmio AV Center」について「巻頭 Qosmio AV Centerとは」

1 チャンネル設定をする

お願い 「Qosmio AV Center」を初めて起動したとき

- あらかじめ、「付録 1 - 8 - 「Qosmio AV Center」全般に関すること」を確認してください。

セキュリティに関する警告メッセージが表示されたときは

「ウイルスバスター」をインストールしている場合は、「Qosmio AV Center」を起動すると、次のようなメッセージ画面が表示されることがあります。

■ファイアウォールの設定に関するメッセージ

（表示例）

警告の内容を確認し、メッセージの中に次の「Qosmio AV Center」のプログラムに対するものがあれば、メッセージ画面で「許可」を設定してください。

- Qosmio AV Center Application（TAVApp.exe）
- Qosmio AV Center Launcher（TAVLauncher.exe）
- Qosmio AV Center Scheduler Service（TAVScheduler.exe）
- Qosmio AV Center 気になるリンク（TosKSearch.exe）
- TOSHIBA AV Converter（TAVConverter.exe）＊1

＊1 TOSHIBA Quad Core HD Processor内蔵モデルのみ

これらのプログラムに対して「拒否」を設定すると、おすすめサービスなど「Qosmio AV Center」の機能の一部をご利用になれない場合があります。この場合は、ファイアウォールの設定を確認してください。

参照 ファイアウォールの設定について「Qosmio AV Center」のヘルプ

■［不正変更の監視］の設定に関するメッセージ

（表示例）

警告の内容を確認し、メッセージの中に「Qosmio AV Center」のプログラムに対するものがあれば、メッセージ画面で「許可」を設定してください。
「Qosmio AV Center」のプログラムは「ファイアウォールの設定に関するメッセージ」の場合と同様です。
これらのプログラムに対して「拒否」を設定すると、「おすすめサービス」など「Qosmio AV Center」の機能の一部をご利用になれない場合があります。この場合は、「ウイルスバスター」の「不正変更の監視」の「例外設定」の設定を確認してください。

参照 ［不正変更の監視］の「例外設定」について「Qosmio AV Center」のヘルプ

1 地上デジタル放送のチャンネル設定をする

『地上デジタル放送局一覧』でお住まいの地域で地上デジタル放送が受信できることをご確認のうえ、地上デジタル放送をご利用ください。
チャンネルの設定は、お住まいの地域の地域名を指定してチャンネルスキャン操作を行うことで自動的に行われます。
地上デジタル放送をご利用になる場合は、必ず設定してください。

準備

あらかじめ、『地上デジタル放送局一覧』でお住まいの地域の地域名を確認してください。

メモ

- 『地上デジタル放送局一覧』を表示するには、［スタート］ボタン（　）→［すべてのプログラム］→［Qosmio AV Center］→［地上デジタル放送局一覧］をクリックします。

1 「Qosmio AV Center」を起動する

①リモコンの［HOME］ボタンを押す

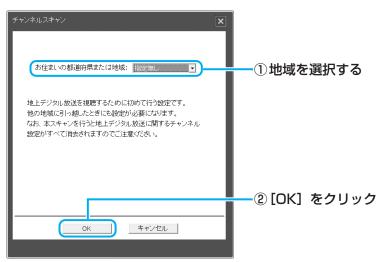
「Qosmio AV Center」が起動します。

②タッチパッドまたはマウスで［設定］をクリック

［設定］画面が表示されます。

2 ［地域チャンネル設定］をクリックする

3 ［チャンネルスキャン］をクリックする

4 ［お住まいの都道府県または地域］を設定する

チャンネルのスキャンが開始され、スキャン中のメッセージが表示されます。
終了すると、終了のメッセージが表示されます。

メモ

- 使わないチャンネルを画面に表示しないようにするには、チャンネルスキャンを行ったあとで、［チャンネルスキップ設定］をクリックして表示される［チャンネルスキップ設定］画面でチャンネルのスキップ設定を行います。
- 手動でチャンネルを設定したい場合は、チャンネルスキャンを行ったあとで、［手動設定］をクリックして表示される［手動設定］画面で設定を行います。
  詳細は、「Qosmio AV Center」のヘルプを確認してください。
- 地上デジタル放送の放送局は周波数の移動や新規放送局の開局などで追加・更新されることがあります。
  このようなときは、［チャンネルスキャン］画面で定期的に放送局のスキャンを行い、設定に追加するなどしましょう。
  詳細は、「Qosmio AV Center」のヘルプを確認してください。

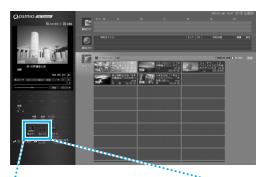
5 ［OK］をクリックする

［設定］画面に戻ります。

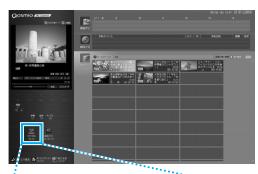
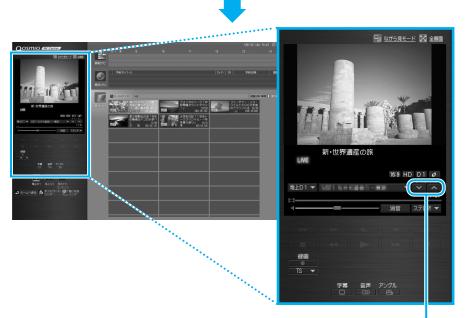
6 ［OK］をクリックする

「Qosmio AV Center」のマウスモード画面に戻ります。
実際にテレビを視聴して、チャンネルの設定ができているか確認します。

7 地上デジタル放送が受信できているか確認する

■ダブル地デジモデルの場合

① [地上D1] または
[地上D2] をクリック

■地デジモデルの場合

① [デジタルテレビ]
をクリック

② クリックして、チャンネルを選択する

地上デジタル放送が受信できていることを確認してください。

参照 「Qosmio AV Center」のヘルプ

地上デジタル放送の受信が確認できなかった場合は、次ページの「地上デジタル放送が受信できなかった場合」を確認してください。

❏ 地上デジタル放送が受信できなかった場合

地上デジタル放送が受信できなかった場合は、次の内容を確認し、正しく設定しなおしてください。

- **B-CASカードの情報を表示する**
  B-CASカードが使用できるかを確認します。
- **アンテナ、アンテナケーブルを確認する**
  アンテナの向きの調節や、アンテナケーブルの接続を確認してください。正しく接続されていなかった場合は接続しなおし、再度チャンネル設定を行います。
- **お住まいの地域が地上デジタル放送の受信エリアかどうかを確認する**
  社団法人 デジタル放送推進協会（Dpa）のホームページで、確認します。
  URL：http://www.dpa.or.jp

参照 B-CASカード情報の表示「Qosmio AV Center」のヘルプ
アンテナ、アンテナケーブルの接続について「本章 3 テレビアンテナを接続する」

2 CATV（ケーブルテレビ）をご利用のお客様へ

CATV（ケーブルテレビ）をご利用のお客様が、本製品で地上デジタル放送の番組を見るには、CATVの端子とパソコン本体のアンテナ入力端子を接続します。

CATV番組の受信には、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。
詳しくは、各CATV会社にお問い合わせください。

■ CATVでの地上デジタル放送受信について

CATVから地上デジタル放送を受信できるかどうかは、CATV会社によって異なります。
ご契約のCATVがパススルー方式の場合、CATVの端子とパソコン本体のアンテナ入力端子を接続すれば視聴できます（CATVパススルー対応）。本製品は、同一周波数パススルー方式、周波数変換パススルー方式に対応しています。トランスモジュレーション方式の場合は受信できません。
詳しくは、CATV会社にお問い合わせください。

メモ

- パソコン本体のアンテナ入力端子への接続方法は、次の説明を確認してください。

参照 「本章 3-2-1 アンテナケーブルの接続」

1 チャンネル設定をする

アンテナ入力端子に接続したあとに、地上デジタル放送のチャンネル設定を行ってください。

参照 地上デジタル放送のチャンネル設定について
「本節 1-1 地上デジタル放送のチャンネル設定をする」

2 電子番組表の利用について

電子番組表で提供されるのは、地上デジタル放送の番組のみです。

2章

テレビを見る・録画する・再生する

テレビを見たり、録画したり、録画した映像ファイルを再生する方法について説明しています。

1 テレビを見る・録画する・再生する

インターネットやメールなど、パソコンで作業をしているときでも、テレビを見ることができます。また、本製品では地上デジタル放送のみを受信することができます。ナビ画面では、テレビ機能のほか本製品に用意されているAV機能を簡単に起動できます。

1 Qosmio AV Centerの使いかた

1 Qosmio AV Centerの起動／終了

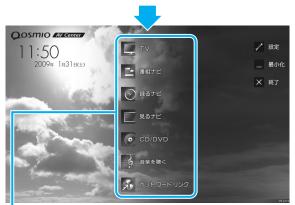
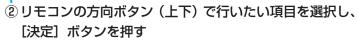
ここでは、「Qosmio AV Center」のホーム画面の起動方法を説明します。
テレビを見たり録画する前に、「付録 1 - 8 「Qosmio AV Center」の使用にあたって」をよくお読みください。

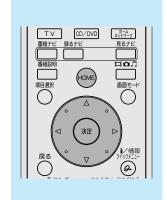
起動／ホーム画面に戻る

1 起動する

①リモコンの［HOME］ボタンを押す

「Qosmio AV Center」のホーム画面が起動します。

②リモコンの方向ボタン（上下）で行いたい項目を選択し、［決定］ボタンを押す

画面モードは、ホーム画面での選択時にリモコンで操作するとリモコンモード、タッチパッドやマウスで操作するとマウスモードになります。

参照 画面モードについて「巻頭 Qosmio AV Centerとは」

「テレビ視聴」画面、各ナビや主な機能は、リモコンのボタンから直接起動することができます。
「Qosmio AV Center」を終了するには、リモコンの［画面終了］ボタンを押すか、画面の［終了］ボタンをクリックしてください。

2 Qosmio AV Centerの使いかた

「Qosmio AV Center」は、「TV」・「番組ナビ」・「録るナビ」・「見るナビ」などの画面から、テレビの視聴や録画、予約録画、録画した番組の再生を行うことができます。

- TV　　　：「テレビ視聴」画面です。
  テレビの視聴や番組の録画、「見るナビ」で選択したコンテンツの再生を行います。
- 番組ナビ：電子番組表でテレビ番組の確認や録画予約を行うことができます。
- 録るナビ：録画予約の新規予約・確認・変更を行うことができます。
- 見るナビ：録画した番組など、コンテンツの一覧表示する画面です。
  コンテンツを再生するときは「テレビ視聴」画面に切り替わります。

Qosmio AV Centerの表示画面

「Qosmio AV Center」は、「テレビ視聴」画面や各ナビを、リモコンやタッチパッドによる操作方法にあわせて、3種類の画面モードに切り替えて表示することができます。
画面モードの切り替え方法は、「巻頭 Qosmio AV Centerとは」を確認してください。
項目によっては、別のアプリケーションが起動します。

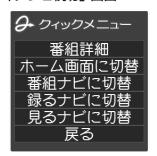
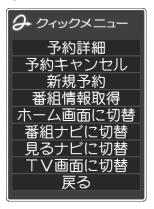
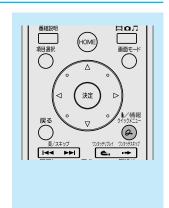
<table>
<tr><th rowspan="2">機能
（ホーム画面の項目）</th><th colspan="3">「Qosmio AV Center」の画面モード</th></tr>
<tr><th>リモコンモード</th><th>マウスモード</th><th>ながら見モード</th></tr>
<tr><td>TV</td><td>○</td><td rowspan="4">○
画面内に「テレビ視聴」画面・番組ナビ・録るナビ・見るナビが表示されます。</td><td>○</td></tr>
<tr><td>番組ナビ</td><td>○</td><td>－</td></tr>
<tr><td>録るナビ</td><td>○</td><td>－</td></tr>
<tr><td>見るナビ</td><td>○</td><td>－</td></tr>
<tr><th></th><th colspan="3">起動するアプリケーションまたは画面</th></tr>
<tr><td>CD/DVD</td><td colspan="3">記録メディアによって、次のアプリケーションが起動します。
・音楽CD　：「Windows Media Player」
・DVD　　：「TOSHIBA DVD PLAYER」
参照 「4章 もっと音楽と映像を楽しむ」</td></tr>
<tr><td>音楽を聴く</td><td colspan="3">「Windows Media Player」を起動します。</td></tr>
<tr><td>ホットワードリンク</td><td colspan="3">「Internet Explorer」を起動し、ホットワードリンクのページを表示します。
参照 「本項- 2 - 役立つ操作集 -
話題の言葉を調べる（ホットワードリンク）」</td></tr>
<tr><td>設定</td><td colspan="3">「Qosmio AV Center」の［設定］画面を表示します。</td></tr>
</table>

リモコンモードは、全画面表示で、テレビの視聴や各機能を操作することができます。
マウスモードは、「テレビ視聴」画面・番組ナビ・録るナビ・見るナビの各機能が画面内に表示されます。
ながら見モードは縮小した画面サイズで、他のアプリケーションを使用しながら、テレビの視聴ができます。

クイックメニューの操作方法

リモコンの［クイックメニュー］ボタンを押すと、選択している項目に関連する機能の一覧「クイックメニュー」が表示されます。

<例>

● リモコンモードの「テレビ視聴」画面

● 録るナビ

リモコンの方向ボタンで行いたい機能を選択し、［決定］ボタンを押してください。

「番組ナビ」・「録るナビ」・「見るナビ」の場合は、操作したい項目を選択して、［クイックメニュー］ボタンを押してください。

タッチパッド（マウス）の操作方法

「Qosmio AV Center」は、リモコン以外にもタッチパッド（マウス）で操作することができます。

- **クリック**　　　：ボタンを押す
- **ダブルクリック**：「番組ナビ」・「録るナビ」・「見るナビ」で項目を決定する
- **右クリック**　　：「クイックメニュー」を開く

また、各画面モードの「テレビ視聴」画面のとき、タッチパッド（マウス）で操作するため、コントロールウィンドウが表示されます。

■ながら見モードのコントロールウィンドウ

コントロールウィンドウ

役立つ操作集

話題の言葉を調べる（ホットワードリンク）

「Qosmio AV Center」では、テレビや新聞で話題になっている最新の言葉（キーワード）をわかりやすく一覧表示し、簡単な操作により、インターネットで調べることができます。
テレビ番組を見たり録画したりする合間に気になるキーワードをクリックして、さまざまな情報を閲覧して楽しむことができます。この機能を、「ホットワードリンク」と呼びます。
「ホットワードリンク」をご利用になるには、インターネットへの常時接続環境が必要です。

参照 「ホットワードリンク」について「Qosmio AV Center」のヘルプ

ホットワードリンク画面から連動するWebサイト「テレビサーフ」へのリンクをクリックすると、より多くの情報が表示されます。

気になる場面で関連したキーワードを抽出して表示する（気になるリンク）

「Qosmio AV Center」では、地上デジタル放送の番組視聴中（録画中の番組の視聴も含む）または地上デジタル放送の録画番組の再生中に、番組の「気になる場面」に関連したキーワードを抽出し、メモとして「気になるリンク」画面に表示することができます。また、「気になるリンク」画面に表示されたキーワードをクリックすると、Webブラウザを起動してキーワード検索を行い、検索結果ページを表示することもできます。この機能を「気になるリンク」と呼びます。
「気になるリンク」は地上デジタル放送の番組視聴中（録画中の番組の視聴も含む）または地上デジタル放送の録画番組の再生中に、利用することができます。
また、キーワード検索を行うには、インターネットへの接続環境が必要です。

ここでは、「気になるリンク」をマウスモードのプレイヤー画面から起動する方法について説明します。

① プレイヤー画面の左下にある［気になるリンク］ボタン（気になる）をクリックする

そのとき視聴・録画している「場面」に関係するキーワードを抽出し、キーワードリストを、「気になるリンク」画面に表示します。

「気になるリンク」の詳細については、「Qosmio AV Center」のヘルプを参照してください。

お願い

- 「ホットワードリンク」や「気になるリンク」のキーワード検索機能をお使いになると、インターネットに接続しキーワード検索を行うことができますが、検索結果として表示されるサイトのなかには、有害なホームページもあります。
  有害なホームページへのアクセスを制限したい場合には、『安心してお使いいただくために』に記載されている「青少年がおられる家庭の皆様へ　～ 重要なお知らせとお願い」をお読みになり、有害なホームページへのアクセスを制限する「i-フィルター5.0」を使用することをおすすめします。
- 「気になるリンク」で表示されるキーワードは、東芝独自の技術に基づき機械的に抽出されます。表示されるキーワードや情報は、放送される番組と関連のないものや、不適切なものが含まれる場合があります。

2 テレビを見る・録画する

地上デジタル放送のチャンネル番号については、『地上デジタル放送局一覧』を確認してください。

メモ

- 電波の受信状態が悪いときは、テレビが正しく映らなくなりますので、アンテナの向きを調整したり、チャンネルを手動設定してチャンネルの調整を行ってください。それでもテレビが映らない場合は、市販のアンテナブースタやアッテネータを使用することで改善する場合があります。詳しくは販売店またはアンテナ工事業者にご相談ください。
- 『地上デジタル放送局一覧』を表示するには、［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［Qosmio AV Center］→［地上デジタル放送局一覧］をクリックします。

1 テレビ（地上デジタル放送）を表示する

メモ

- リモコンの［TV］ボタンを押して、「テレビ視聴」画面を起動することもできます。

5.1chサラウンド放送の音声は、2chに変換されて出力されます。

参照 画面に表示されるアイコンなどの表示情報について「Qosmio AV Center」のヘルプ

リモコンのボタンを使って、チャンネルの変更（切替え）、音量の調整、音声多重の切替え、音声の切替え、字幕の表示、データ放送の利用ができます。

参照 データ放送について「Qosmio AV Center」のヘルプ

役立つ操作集

「データ放送」について
地上デジタル放送では、テレビを視聴しながら、天気予報や交通情報、ニュースなど、地上デジタル放送局が提供する情報を画面に表示することができます。
情報を見るだけでなく、アンケートや投票、クイズへの回答などが可能なデータ放送を、放送局が提供することがあります。

なお、放送局や番組によって、データ放送が行われていない場合があります。

お願い 「データ放送」について

- あらかじめ、「付録 1 - 8 -「データ放送」について」を確認してください。

チャンネルを切り替える

2 リモコンで、チャンネルの番号の数字ボタンを押す

数字ボタンで変更できるチャンネルは、CH1～CH12までです。
または、リモコンの［チャンネル∧］または［チャンネル∨］ボタンを押します。

チャンネルが切り替わります。

- **3桁チャンネル番号で切り替える**
  地上デジタル放送では、1つのチャンネル番号に対して放送局が複数の番組を提供することができます。各々の番組には3桁のチャンネル番号が割り付けられます。
  3桁チャンネル番号で切り替える場合は、リモコンの［3桁入力］ボタンを押したあと、チャンネル番号の数字ボタンを押します。
  (例) 011チャンネルに切り替えたい場合
  ①リモコンで［3桁入力］、［0］、［1］、［1］の順にボタンを押す

視聴している番組をそのまま録画する

3 番組を見ながら、録画したいシーンでリモコンの［録画］ボタンを押す

録画が開始されます。
録画中の画面は、画面左上隅に「●」と表示されます。
ダブル地デジモデルの場合、「●」の部分に、録画しているTVチューナの種類に合わせて「D1」または「D2」と表示されます。

▼ダブル地デジモデルのみ

■TVチューナを切り替える

ダブル地デジモデルでは、「地上D1」と「地上D2」の2つのTVチューナで地上デジタル放送を同時に受信できます。2つのTVチューナを切り替えることで、地上デジタル放送の2つの番組を同時に録画できたり、1つの番組を録画しながら、他の番組を視聴することができます。
TVチューナを切り替える方法は、次のとおりです。
「テレビ視聴」画面を表示させた状態で操作してください。

①リモコンの［地上デジタル］ボタンを押す

［地上デジタル］ボタンを押すごとに、「地上D1」または「地上D2」の「テレビ視聴」画面に切り替わります。

▲ダブル地デジモデルのみ

■地デジモデルの場合

録画中にチャンネルを変更して別の番組を録画するには、1度、録画を停止します。詳細は「Qosmio AV Center」のヘルプを確認してください。
録画中は、ほかの地上デジタル放送の番組を見ることができません。

4 録画を停止したいシーンで、リモコンの［停止］ボタンを押す

「ワンタッチ録画を停止します。よろしいですか？」のメッセージが表示された場合は、［はい］ボタンを選択し、［決定］ボタンを押してください。
録画を停止します。

録画について

録画したテレビ番組は、パソコンのハードディスクに保存されます。
番組内に含まれる複数の音声ストリーム（吹き替えなど）や映像ストリーム（アングルなど）、二カ国語放送についても、再生したときに番組放送時と同じ動作で再生できるように録画されます。
ハードディスクに空き容量がないと、録画や予約録画の実行はできません。録画が途中であっても、空き容量がなくなると録画を自動的に終了します。

❑ 録画品質と必要なハードディスクの容量について

「Qosmio AV Center」で1時間録画するのに必要なハードディスクの容量は次のとおりです。
放送の種類やビットレート、解像度、容量は番組によって異なります。
なお、「録るナビ」画面下部に表示される録画可能時間も、あくまで目安であり、実際の録画ファイル容量／録画時間とは異なる場合があります。

■通常の録画について

録画品質	放送の種類	画質	サイズ*1
TS	地上デジタルハイビジョンテレビ放送（17Mbps）	高画質	約7.5GB
	地上デジタル標準テレビ放送（8Mbps）	標準	約3.6GB

＊1　1時間の録画番組を保存するときに必要なハードディスクの容量

▼TOSHIBA Quad Core HD Processor内蔵モデルのみ

■TOSHIBA Quad Core HD Processorを使用した録画について

本製品には、「TOSHIBA Quad Core HD Processor"SpursEngine"」が内蔵されています。
「TOSHIBA Quad Core HD Processor」を使うことで、録画番組の保存に必要なハードディスク容量を減らし、より多くの番組を録画することができます。また、録画済みの番組を変換し、ファイル容量を減らすことも可能です。*

＊録画したファイルを変換すると、変換モードにより画質が劣化します。

録画や変換の際、一時的にハードディスク容量が必要になります。
TOSHIBA Quad Core HD Processorを使った録画、変換の際、データ放送は削除されます。
録画品質（ビットレート）は、次の4種類があります。

録画品質	画質	サイズ*1	必要領域*2
XP	高	約4.4GB	約11.9GB
SP	↓	約3.6GB	約11.1GB
LP	↓	約2.5GB	約10.0GB
EP*3	低	約0.9GB	約8.4GB

＊1　1時間の録画番組を保存するときに必要なハードディスクの容量
＊2　1時間の録画番組を録画するときに、一時的に必要なハードディスクの容量
＊3　HD画質は、通常（SD）の画質に変換されます。

■顔deナビについて

顔deナビを楽しむには、あらかじめ顔deナビデータを作成しておく必要があります。
顔deナビデータを作成するには、顔deナビデータを作成する設定を行ってください。
なお、顔deナビデータは、録画と同時に行うだけでなく、録画済みの番組からでも作成することができます。

参照 顔deナビデータを作成する「本章 2-1-2 「番組ナビ」で録画予約する」

参照 顔deナビについて「4章 5 見たい人物が登場するシーンを探したい」

▲TOSHIBA Quad Core HD Processor内蔵モデルのみ

❏ ご購入時の録画に関する設定

- 録画品質 ： TS
- 顔deナビデータ*1 ： 作成しない
- 録画した番組データの保存場所 ： C:¥Users¥Public¥Videos
  (C:¥ユーザー¥パブリック¥パブリックのビデオ)

*1 TOSHIBA Quad Core HD Processor内蔵モデルのみ

参照 録画に関する設定項目「Qosmio AV Center」のヘルプ

お願い 「Qosmio AV Center」での録画にあたって

- あらかじめ、「付録 1-7 地上デジタル放送の録画について」、「付録 1-8-「Qosmio AV Center」ご利用にあたって」を確認してください。

3 録画した番組を再生する

ここでは、「Qosmio AV Center」で録画したテレビ番組を再生する方法を説明します。

1 「見るナビ」を起動する

メモ

- リモコンの［見るナビ］ボタンを押して、［見るナビ］画面を起動することもできます。

［見るナビ］画面では、録画番組を一覧で確認できます。

参照 ［見るナビ］画面の詳細について
「Qosmio AV Center」のヘルプ

2 リモコンの方向ボタンで録画番組を選択し、［決定］ボタンを押す

ページを切り替える場合は、リモコンの［頁（前）スキップ］または［頁（次）スキップ］を押してください。

画面全体に、録画した番組が再生されます。

役立つ操作集

約1.5倍速で再生する（早見早聞）

「Qosmio AV Center」の「早見早聞」機能を使うと、約1.5倍速で早送り再生ができます。このとき、音も約1.5倍で再生されます。
早見早聞機能を使って約1.5倍速の早送り再生をする場合は、手順 2 のあとで［早送り］ボタンを押してください。

■前回停止した位置から再生する（レジューム機能）

「Qosmio AV Center」では、録画番組（ビデオ）の再生を中断し、途中までしか再生していない状態のとき、中断した場所を覚えています。次回の再生時に、前回再生を停止した位置から再生を開始します。
ハードディスクへの記録内容や状態などの条件によって、タイトルやディスクの先頭から再生が始まるなど、再生位置が異なることがあります。
レジューム機能を使わず、最初から見たいときは、「番組の頭だし」機能を使ってください。

参照 レジューム機能、番組の頭だし機能について「Qosmio AV Center」のヘルプ

2 テレビ番組を録画予約する

「Qosmio AV Center」では次の予約録画を選んで使うことができます。

- **「番組ナビ」で録画予約する**

  「番組ナビ」の電子番組表や、「おすすめサービス」の番組リストから番組を選んで録画予約できます。「番組名」や「録画時間帯」がわからなくても、「番組ナビ」から簡単に予約できます。

  参照 「番組ナビ」について「本節 1 番組ナビで録画予約する」

- **マニュアル予約で録画予約する**

  「予約詳細」画面に、チャンネルや放送日、録画開始時刻／終了時刻を直接入力・設定し、手動で録画予約します。

  参照 マニュアル予約について「Qosmio AV Center」のヘルプ

- **メールで録画予約する**

  外出先で「録画予約を忘れた！」というときに便利なのが「メール録画予約」機能です。携帯電話やパソコンからメールを送って録画予約できます。

  参照 メールで録画予約について「Qosmio AV Center」のヘルプ

  「テレビサーフ」の「メール予約サービス」を使うと、外出先から番組を検索し、メールを送ることができます。

役立つ操作集

テレビサーフ連携

テレビサーフとは、東芝がご提供するデジタル家電とネットワークサービスに連携した、テレビ番組の情報提供と録画予約をサポートするポータルサイトサービスです。
テレビサーフでは、ご利用中の携帯電話やパソコンからも、「Qosmio AV Center」に配信されるあなただけのおすすめ番組メニューや、録画予約ランキングをチェックできます。
テレビサーフについての詳しい情報は、テレビサーフWebサイト（http://tvsurf.jp/）をご覧ください。

1 番組ナビで録画予約する

1 録画予約する準備

「番組ナビ」で録画予約する前に、次の準備が必要です。

- 電子番組表の設定
- アカウント（ユーザ名）とWindowsログオンパスワードの登録

電子番組表を利用する設定をする

地上デジタル放送の「電子番組表」は、地上デジタル放送の電波の中に入って送られてきます。「電子番組表」とは、画面上で見られる「番組データ」の表です。あらかじめ、電子番組表を利用できるように設定しておきます。
本製品のご購入時は、利用できるように設定されています。利用できないように設定を変更した場合は、「Qosmio AV Center」のヘルプを参照し、設定を戻してください。

メモ

- パソコンの時計（日付と時刻）と放送波の時計が大きくずれていると、電子番組表が正しく表示されなかったり、予約録画に失敗することがあります。「設定」の［その他の設定］画面の「システム時刻設定」を「地上デジタル放送波で調整する」に設定しておくことをおすすめします。
- あらかじめ設定された時刻に、パソコンが自動的に起動して、電子番組表のデータをダウンロードすることができます。パソコンの状態が電源オフ／スリープ／休止状態でも可能です。「設定」の［その他の設定］画面で「電子番組表の定期取得」を「する」に設定すると、「電子番組表の取得開始時刻」で設定された時刻にデータ取得を開始します。

お願い 電子番組表を利用するにあたって

- あらかじめ、「付録 1 - 8 - 電子番組表利用時の注意事項」を確認してください。

アカウントとWindowsログオンパスワードの登録

予約録画の実行時に、パソコンの電源を切った状態またはログオフ状態時でも、自動起動して録画を開始できるように、あらかじめ「アカウント（ユーザ名）」と「Windowsログオンパスワード」を「Qosmio AV Center」に登録しておきます。

■Windowsログオンパスワードについて

Windowsログオンパスワードは、Windowsセットアップ時に設定することを強くおすすめしています。設定していない場合は、［コントロールパネル］の［ユーザー アカウントと家族のための安全設定］で設定してください。

参照 Windowsセットアップ時の設定方法『準備しよう 1章 パソコンの準備』

■ログオンパスワードと録画予約について

- パソコンが休止状態やスリープ状態時には、「ログオンパスワードの設定」を行っていなくても予約録画を実行（自動起動して録画を開始）します。
- ［録画設定］画面で登録できる「ログオンパスワード」の設定は、「Qosmio AV Center」で1アカウント分だけです。パソコンを複数のユーザでお使いのかたは、どなたか1人に決めていただき、そのアカウント（ユーザ名）とパスワードを登録するようにしてください。

■アカウントとWindowsログオンパスワードの登録方法

①「Qosmio AV Center」を起動し、［設定］画面を表示する

参照 「本章 1 - 1 - 2 - Qosmio AV Centerの表示画面」

②［録画設定］をクリックする

③「ログオン設定」の［アカウント］にアカウント名、［パスワード］にWindowsログオンパスワードを入力する

④［OK］をクリック

参照 Windowsログオンパスワードの登録について「Qosmio AV Center」のヘルプ

2 「番組ナビ」で録画予約する

「番組ナビ」は、電子番組表から番組を選んで録画予約ができる画面です。

1 「番組ナビ」を表示する

メモ

- リモコンの［番組ナビ］ボタンを押して、［番組ナビ］画面を起動することもできます。

［番組ナビ］画面には、「全チャンネルの一覧」と「チャンネル別」の2種類の表示形式があります。
番組の「タイトル」「ジャンル」「キーワード」から番組内容を検索することもできます。

参照 ［番組ナビ］画面の詳細について
「Qosmio AV Center」のヘルプ

2 録画したい番組を選択する

リモコンモードの場合、リモコンの［頁（前）スキップ］ボタン／［頁（次）スキップ］ボタンを押すと、表示される時間を切り替えます。

リモコンの［ワンタッチリプレイ］ボタンを押すとページの上に、［ワンタッチスキップ］ボタンを押すとページの下にスクロールします。

①リモコンの方向ボタンを押して番組を選択し、［決定］ボタンを押す

番組を選択すると、画面に番組情報が表示されます。さらに詳細な番組情報を確認することもできます。

参照 ［番組ナビ］画面の詳細について
「Qosmio AV Center」のヘルプ

［予約詳細］画面が表示されます。

TOSHIBA Quad Core HD Processorが内蔵されていないモデルは、手順 6 へ進んでください。
TOSHIBA Quad Core HD Processor内蔵モデルは、手順 3 で録画品質の変更、手順 4 で顔deナビデータの設定を行います。これらの変更を行わない場合は、手順 6 へ進んでください。

参照 録画品質「本章 1 - 2 - 録画について」

参照 顔deナビデータについて
「4章 5 見たい人物が登場するシーンを探したい」

TOSHIBA Quad Core HD Processor内蔵モデルのみ

3 録画品質を変更する

①リモコンの方向ボタン（上下）を押して［画質］の［変更］ボタンを選択し、リモコンの［決定］ボタンを押す

②リモコンの方向ボタン（上下）を押して、［画質モード］を選択する
③リモコンの方向ボタン（左右）で録画品質を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押す

参照 録画品質について「本章 1 - 2 - 録画について」

TOSHIBA Quad Core HD Processor内蔵モデルのみ

4 顔deナビデータの設定を行う

①顔deナビデータを作成する場合は、リモコンの方向ボタン（上下）を押して、[顔deナビデータ] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押して［作成する］にチェックを付ける

顔deナビデータを作成しない場合は、チェックをはずしてください。

参照 顔deナビデータについて
「4章 5 見たい人物が登場するシーンを探したい」

5 リモコンの方向ボタン（上下）を押して、[決定] を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押す

［予約詳細］画面に戻ります。

6 予約内容を確認し、リモコンの方向ボタン（上下）を押して、［登録］を選択し、リモコンの［決定］ボタンを押す

内容を変更したい項目がある場合は、［決定］ボタンを押す前に変更してください。

「録画予約を受け付けました。」というメッセージが表示されます。

予約録画が1件以上登録されているとき、システムインジケータの録画状態LEDがオレンジ色に点灯します。

参照 システムインジケータ
『いろいろな機能を使おう 1章 1 各部の名称』

録画状態LEDは点灯しないように設定することもできます。

参照 録画状態LEDについて「Qosmio AV Center」のヘルプ

7 リモコンの［決定］ボタンを押す

［番組ナビ］画面に戻ります。
録画予約した番組の色が赤に変わります。

引き続き、ほかの番組の録画を予約したい場合は、手順 2 ～ 7 を繰り返してください。
これで予約ができました。

▼ダブル地デジモデルのみ

ダブル地デジモデルでは、地上デジタル放送の番組2つの予約の録画時間帯が重複していても、両方の番組を同時に録画予約することができます。

参照 詳細について「Qosmio AV Center」のヘルプ

▲ダブル地デジモデルのみ

メモ

- 予約できる番組数は50番組までです。
  録画予約は録画開始日が62日先までできます。予約できる番組数は、メール予約など、ほかの方法で録画予約した番組数も含みます。

■録画予約が終わったあとは

録画予約の入力が終わったら、「Qosmio AV Center」を終了しておくこともできます。
また、パソコンをスリープ、休止状態、電源オフの状態にした場合は、予約録画の開始時刻になると自動的にパソコンが起動して録画を実行します。
あらかじめWindowsのログオンパスワードを「Qosmio AV Center」に登録している場合は、電源オフ状態またはログオフ状態のときも、自動的にパソコンを起動して録画を実行します。

役立つ操作集

おすすめサービス
「おすすめサービス」とはインターネットに接続することで番組録画予約をより簡単に楽しく使っていただくための機能です。
「おすすめサービス」を使用するには、あらかじめ登録が必要です。
全国のQosmioと東芝製HDD&DVDレコーダのユーザが録画予約している番組を集計して、ジャンル別や時間帯別に録画予約ランキングを番組リストで表示し、録画予約することができます。
＊「おすすめサービス」の画面で表示される番組に地上デジタル放送にて放送される番組の候補がある場合、地上デジタル放送の番組を録画予約することができます。

メモ

- 「おすすめサービス」では、iNET電子番組表を利用します。
  iNET
  東芝提供のインターネット接続型番組情報提供サービスデータの提供元：株式会社日刊編集センター（2009年3月現在）

お願い おすすめサービスに関する注意事項

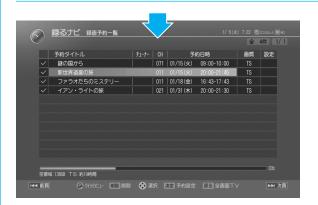
- あらかじめ、「付録 1 - 8 - iNETご利用時の制限事項」、「付録 1 - 8 - おすすめサービスに関する注意事項」を確認してください。

2 録画予約した内容を確認する

録画予約された番組は、「録るナビ」で確認できます。
「録るナビ」で、録画予約の変更や取り消しもできます。

1 「録るナビ」を表示する

メモ

- リモコンの［録るナビ］ボタンを押して、［録るナビ］画面を起動することもできます。

［録るナビ］画面では、録画予約した番組を一覧で確認できます。
録画予約した番組のキャンセルは、クイックメニューで行います。

参照 録画予約の変更、取り消しについて
「Qosmio AV Center」のヘルプ

参照 クイックメニューについて
「本章 1 - 1 - 2 - クイックメニューの操作方法」

■録画予約が重複した場合

録画の時間帯が重複する予約があるときは、録画開始時刻が優先されます。
「Qosmio AV Center」は、録画予約の「録画開始時刻」を見て次の録画を開始します。録画の時間帯が重複していると、番組が最後まで終了していなくても、次の予約録画の開始30秒前になると、今録画している番組の録画を終了し、次の録画を開始します。「番組ナビ」「録るナビ」などで録画予約の状況を確認し、録画の時間帯が重複しないようにしてください。
「録画開始時刻」が同じ場合は、先に登録された予約が優先されます。
なお、ダブル地デジモデルでは、地上デジタル放送の番組2つの予約録画の時間帯が重複していても、両方の番組を同時に録画できます（デジタルW録）。

3 録画した番組をDVDに保存する

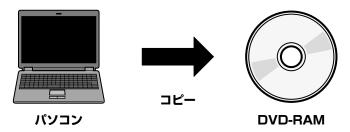
地上デジタル放送を本製品のハードディスクに録画したデータを、DVD-RAMに保存（コピー／移動（ムーブ））することができます。
地上デジタル放送以外の映像データをDVDにする方法は、「3章 1-2 映像ファイルをDVDにする」を参照してください。

録画した番組のコピーと移動について

本製品では、「ダビング10」または「コピーワンス」の番組をDVD-RAMに保存することができます。

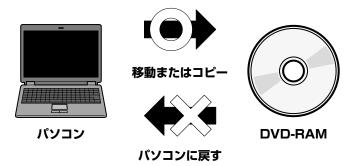
❏ パソコンからコピー／移動する録画データについて

■コピー（ダビング10）

「ダビング10」の番組をDVD-RAMに保存するとき、1回～9回目の保存の場合は、ハードディスクに番組の録画データを残したまま、DVD-RAMに保存することができます。

■移動（ダビング10・コピーワンス）

「ダビング10」の番組で、すでにDVD-RAMへ9回保存している番組の場合や、「コピーワンス」の番組の場合は、番組の録画データを、ハードディスクからDVD-RAMに移動することができます。
このとき、番組の録画データはパソコンのハードディスクには残りません。

❑ DVD-RAMにコピー／移動した録画データについて

DVD-RAMにあるコピー／移動した番組の録画データは、パソコンに戻したり、他のDVD-RAMに保存することができません。

1 録画した映像をDVDに保存する

CPRM（Content Protection for Recordable Media）という著作権保護技術に対応したDVD-RAMにのみ、コピー／移動（ムーブ）ができます。
「Qosmio AV Center」では、地上デジタル放送の著作権が保護されたデータを、SD解像度（720×480）に変換してDVD-RAMに記録します。作成したDVD-RAMはDVD-VR形式になります。

お願い　コピー／移動（ムーブ）機能について

- DVDへの移動を行うと、ハードディスクに録画したデータは削除され、元に戻すことはできません。
- コピー／移動（ムーブ）機能を実行する前に、「付録 1 - 7 地上デジタル放送の録画について」、「付録 1 - 8 - 地上デジタル放送の録画ファイルのDVDコピー／移動に関する注意事項」をよくお読みください。

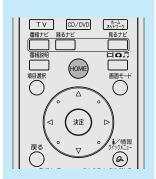
1 マウスモードで［見るナビ］画面を表示する

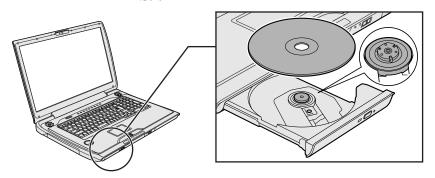
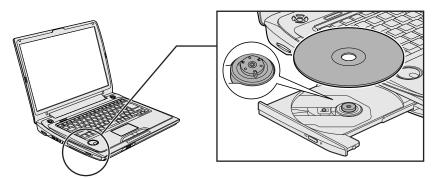
①リモコンの［HOME］ボタンを押す

「Qosmio AV Center」が起動します。

②タッチパッドまたはマウスで［見るナビ］をクリック

マウスモードの［見るナビ］画面が表示されます。
［見るナビ］画面では、録画した番組の一覧が表示されています。

参照 ［見るナビ］画面の詳細について
「Qosmio AV Center」のヘルプ

2 ドライブにDVDをセットする

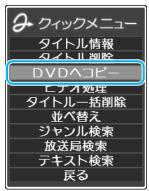
■G50シリーズの場合

■F50シリーズの場合

3 保存したい録画番組上で右クリックし、表示されたクイックメニューから［DVDへコピー］または［DVDへ移動］をクリックする

クイックメニューで表示される項目は、録画番組に表示されているアイコンによって異なります。

- ダビング9 ～ ダビング1 ：［DVDへコピー］
- コピー ・ コピー ：［DVDへ移動］

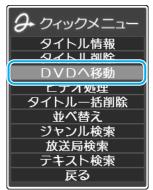
■［DVDへコピー］の場合

①［DVDへコピー］をクリック

(表示例)

■［DVDへ移動］の場合

①［DVDへ移動］をクリック

(表示例)

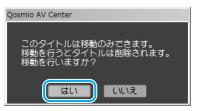
メッセージが表示されます。

4 メッセージを確認して、［はい］ボタンをクリックする

■［DVDへコピー］の場合

Qosmio AV Center

このタイトルは9回コピーが可能です。
コピーを行うとタイトルのコピー可能回数が減ります。
コピーを行いますか？

はい　いいえ

■［DVDへ移動］の場合

［DVDへ移動］を実行する場合は、「見るナビ」から番組データが削除されます。録画データの移動（DVDへの書き込み作業）を開始しなかった場合は、表示は元に戻ります。

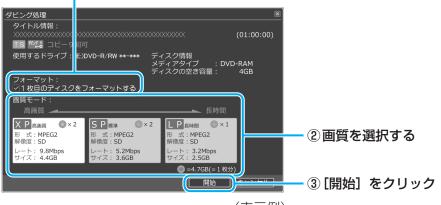
5 画面に従って操作する

▼TOSHIBA Quad Core HD Processor内蔵モデル

本機能を使用するうえでの注意事項などが記載された画面が表示されますので、必ず画面の内容をよくお読みのうえ、［OK］をクリックしてください。

① 1枚目のディスクをフォーマットする場合は、チェックする

② 画質を選択する

③［開始］をクリック

（表示例）

ビデオの画質は、次の中から選択できます。

XP（高画質、約1時間）：一番高画質で、1枚のディスクに約1時間収録が可能
SP（標準、約2時間）：標準的な画質で、1枚のディスクに約2時間収録が可能
LP（長時間、約3時間15分）：画質を落とし、1枚のディスクに約3時間15分収録が可能

[開始] ボタンをクリックすると、コピー／移動（ムーブ）開始の確認画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックしてください。

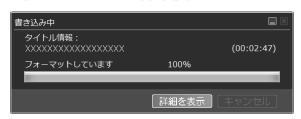
[ダビング処理] 画面で [1枚目のディスクをフォーマットする] にチェックを入れた場合は、「フォーマットしてもよろしいですか？」という画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックしてください。

書き込みを開始します。

[フォーマット処理中] 画面 → [書き込み処理中] 画面が順次表示されます。
[フォーマット処理中] 画面は、次の場合に表示されます。

- [ダビング処理] 画面で [1枚目のディスクをフォーマットする] にチェックを入れ、1枚目のディスクをフォーマットする場合
- 複数枚のディスクに記録するときに、データが記録されているディスクを2枚目以降に使用し、フォーマットする場合

コンテンツファイルの保存にDVDが複数枚必要な場合には、現在のディスクへの書き込みの進捗と全体の進行状況を表示します。

<[フォーマット処理中] 画面>

（表示例）

<[書き込み処理中] 画面>

（表示例）

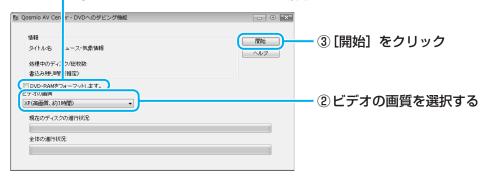
メモ　コピー可能回数を確認する

- 録画したテレビ番組がコピー可能な場合は、「見るナビ」のサムネイルや「タイトル情報／Video詳細」画面にコピー可能回数が表示されます。
- コピーを9回行ってコピー可能回数が0になると、「移動1回可」の表示に変わります。また、コピーできない場合（コピー不可の場合）は「移動のみ」と表示されます。これらの場合は、コンテンツの「移動（ムーブ）」だけを行うことができます。

保存したDVDを本製品で再生するには、「TOSHIBA DVD PLAYER」で再生してください。

▲ TOSHIBA Quad Core HD Processor内蔵モデル

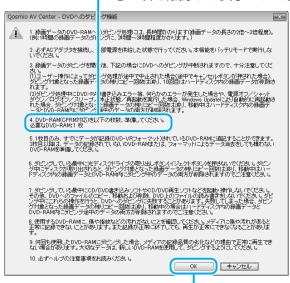
▼TOSHIBA Quad Core HD Processorが内蔵されていないモデル

本機能を使用するうえでの注意事項などが記載された画面が表示されますので、必ず画面の内容をよくお読みのうえ、［OK］をクリックしてください。

ビデオの画質は、次の中から選択できます。

XP（高画質、約1時間）　：一番高画質で、1枚のディスクに約1時間収録が可能
SP（標準、約2時間）　　：標準的な画質で、1枚のディスクに約2時間収録が可能
LP（長時間、約3時間30分）：画質を落とし、1枚のディスクに約3時間30分収録が可能

メモ

- 画面上の［ヘルプ］ボタンをクリックするとヘルプが表示され、操作の詳細を確認することができます。

［開始］ボタンをクリックすると、注意事項などが記載された画面が表示されます。表示された画面の内容をよくお読みください。

［OK］ボタンをクリックすると、コピー／移動（ムーブ）開始の確認画面が表示されます。

手順①で［DVD-RAMをフォーマットします。］にチェックを入れた場合は、フォーマットの確認画面が表示されますので、［OK］ボタンをクリックしてください。

コピー／移動中の状態を示す画面が表示されます。

（表示例）

⑦［OK］をクリック

コピー／移動が完了します。

メモ　コピー可能回数を確認する

- 録画したテレビ番組がコピー可能な場合は、「見るナビ」のサムネイルや「タイトル情報／Video詳細」画面にコピー可能回数が表示されます。
- コピーを9回行ってコピー可能回数が0になると、「移動1回可」の表示に変わります。また、コピーできない場合（コピー不可の場合）は「移動のみ」と表示されます。これらの場合は、コンテンツの「移動（ムーブ）」だけを行うことができます。

保存したDVDを本製品で再生するには、「TOSHIBA DVD PLAYER」で再生してください。

▲ TOSHIBA Quad Core HD Processorが内蔵されていないモデル

3章

映像をDVDに残す

デジタルビデオカメラで撮影した映像を編集してDVDにする方法を説明します。

1 映像を編集してDVDに残す

デジタルビデオカメラで撮影した映像をパソコンで編集し、DVDに残すことができます。

1 DVDを作成する準備

映像を編集してDVDに残すには、「DVD（ディーブイディー） MovieWriter（ムービーライタ） for（フォー） TOSHIBA（トウシバ）」を使います。
「DVD MovieWriter」では、地上デジタル放送の番組を、DVDメディアなどへ直接書き込んだり、コピー・移動したりすることはできません。
地上デジタル放送の録画データをDVDに保存する方法は、「2章 3 録画した番組をDVDに保存する」を参照してください。

DVDを用意する

「DVD MovieWriter」がサポートしている記録メディアとフォーマットを参考に、書き込み可能なDVDメディアを用意してください。なお、推奨するメーカの記録メディアを使用してください。

参照 推奨するメーカ『dynabook ＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』

❏ フォーマット

フォーマットとは、映像を書き込むときの記録形式のことです。フォーマットによって、作成したDVDを再生できる機器が異なります。それぞれ次の特徴があります。

■DVD-Videoフォーマット

もっとも一般的なDVD形式です。ほとんどの家庭用DVDビデオレコーダやパソコンと再生互換があります。DVDメニューを作成することができます。

■-VRフォーマット

再編集可能なDVDを作成します。一部の家庭用DVDビデオレコーダやパソコンでは再生できない場合があります。DVDメニューを作成することはできません。

■+VRフォーマット

再編集可能なDVDを作成します。DVD+VRに対応した家庭用DVDビデオレコーダやパソコンでのみ再生できます。DVDメニューを作成することができます。

メモ

- DVDメニューとは、DVDをセットしたときに表示されるタイトル画面のことです。

「DVD MovieWriter」がサポートしている記録メディアとフォーマットは、次のとおりです。

○：使用できる　×：使用できない

	DVD-R *1	DVD-RW	DVD+R *2	DVD+RW	DVD-RAM
DVD-Videoフォーマット	○	○	○	○	×
-VRフォーマット	×	○	×	×	○
+VRフォーマット	×	×	×	○	×

＊1　DVD-R DLを含みます。
＊2　DVD+R DLを含みます。

操作の流れ

操作は次の流れで行います。

メモ

- 映像を編集する前に、「付録 1 - 12 「DVD MovieWriter」の使用にあたって」をよくお読みください。

ヘルプの起動方法

「DVD MovieWriter」についての詳細は、『DVD MovieWriter ユーザーガイド』を確認してください。

2 映像ファイルをDVDにする

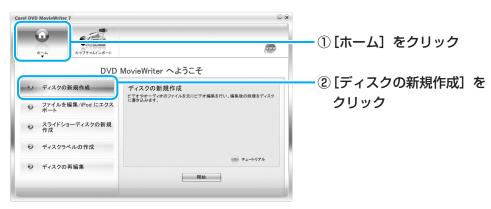
ここでは、あらかじめファイルにしておいたビデオ映像などをDVDに書き込む方法を説明します。

1 DVDにする映像ファイル（ビデオ映像のファイルなど）を用意する

映像ファイルを取り込む

2 [スタート] ボタン（ ）→ [すべてのプログラム] → [DVD MovieWriter for TOSHIBA] → [DVD MovieWriter Launcher] をクリックする

「DVD MovieWriter」が起動します。

3 [ディスクの新規作成] を選択する

役立つ操作集

iPod用の映像ファイルを出力する

映像ファイルを編集して、動画を再生できる「iPod」や携帯型の外部機器に対応した映像ファイルを出力することができます。
「iPod」を使用される場合は、先に「iTunes」をインストールしてください。

参照 「iPod」、「iTunes」について『iPodの取扱説明書』

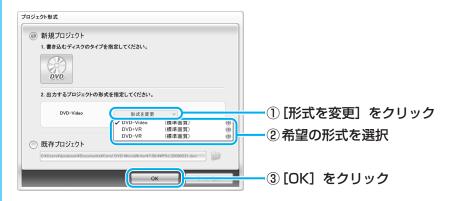
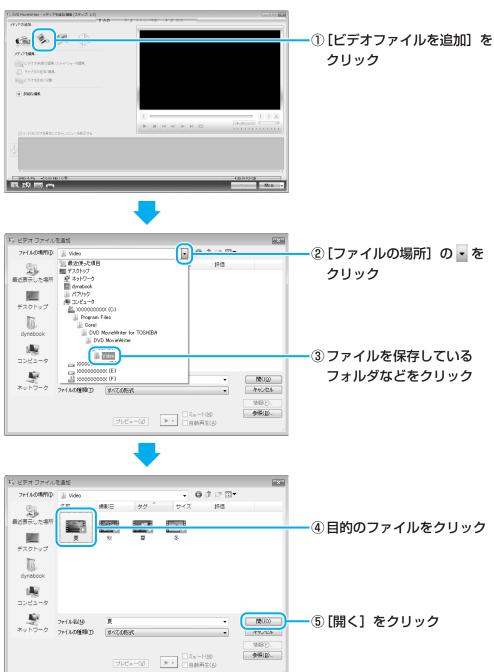
① 「DVD MovieWriter」を起動する
　本項の手順 1 ～ 2 と同じ操作を行ってください。
② ［ホーム］をクリック→［ファイルを編集/iPodにエクスポート］をクリックする
③ 編集を行う
　本項の手順 5 ～ 7 と同じ操作を行ってください。
　2つ以上のファイル（タイトル）を編集する場合は、「メディアを編集」の［ビデオを合成］を行うと、1つのファイルとして出力されます。
④ ［次へ］をクリックする
⑤ ［iPod形式を出力］タブで、出力するときのファイル形式を選択する
⑥ ［次へ］をクリックする
　ファイルの保存場所とファイル名を設定する画面が表示されます。
⑦ ファイル名を設定して、［保存］をクリックする
　ファイルの出力が始まります。作成されたファイルは「iTunes」に登録されます。

TOSHIBA Quad Core HD Processor内蔵モデルでは、手順⑤で［ファイルを出力］タブにある「詳細機能」の［TOSHIBA Quad Core HD Processorを使用］と［インデクシング］をチェックすると、「顔deナビデータ」を作成することができます。
保存した「顔deナビデータ」は、「東芝グラフィカルビデオライブラリ」で見ることができます。
「顔deナビデータ」を見るためには、次のフォルダに保存してください。

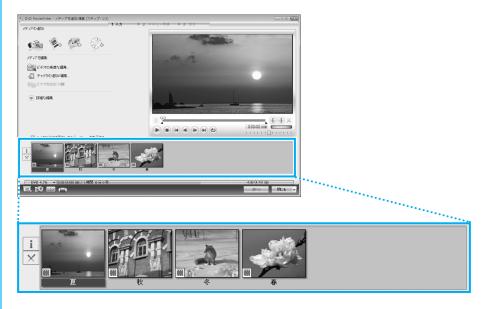
- ［コンピュータ］→「ハードディスクドライブ」の［(C:)］→［ユーザー］→［パブリック］→［パブリックのビデオ］

参照 「東芝グラフィカルビデオライブラリ」について
「4章 5 - 2 - 2 -役立つ操作集 -映像ファイルから顔deナビデータを作成する」

4 作成したいDVDの形式を選択する

［形式を変更］ボタンをクリックして、表示されたリストの中から希望の形式を選択してください。

5 編集したい映像ファイルを選択する

複数のファイルを取り込む場合は、手順 5 を繰り返し行ってください。

6 映像ファイルが取り込まれる

［メディアを追加/編集（ステップ：1/3）］画面に戻り、画面下部の「メディアリスト」に編集したい映像ファイルが追加されます。

「メディアリスト」に表示される映像ファイルの1つ1つが、DVDのメニューに表示されるタイトルになります。

メモ

- 映像用DVDは一部を除いて、タイトル、チャプタが設定されています。
  DVD再生時に、各タイトルやチャプタから再生できます。

  DVDのタイトルとチャプタの構造（例）

  DVD（メディア）
  　-タイトル1
  　　-チャプタ1
  　　-チャプタ2
  　-タイトル2
  　　-チャプタ1…

役立つ操作集

映像ファイルを取り込む

「メディアの追加」に用意されている各ボタンをクリックすると、映像ファイルを取り込むことができます。

[ビデオをキャプチャ]
デジタルビデオカメラから映像を取り込みます。

[ビデオファイルを追加]
あらかじめファイルにしておいたビデオ映像など、本製品で作成した映像ファイルをメディアリストに追加します。
＊ 一部サポートしていないファイルもあります。

[フォルダからビデオをインポート]
ハードディスクまたは「DVD MovieWriter」で作成したDVDから映像を取り込みます。
映像を選択して、取り込むこともできます。

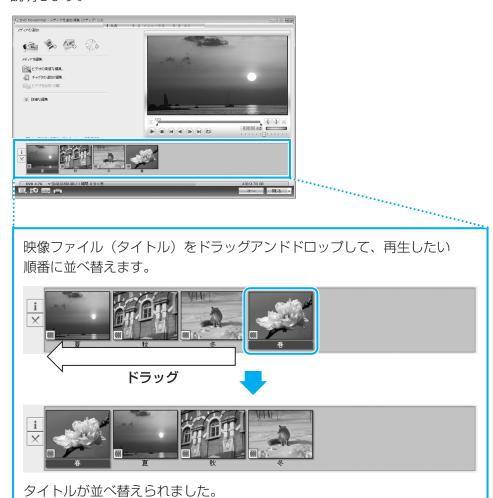
[写真を指定してスライドショーを作成]
複数の画像などをスライドショーに加工して取り込みます。

参照 デジタルビデオカメラから映像を取り込む方法
「本節 3 デジタルビデオカメラで撮影した映像を取り込む」

次は、編集を行います。

映像ファイルを編集する

7 クリップを並べ替える

「メディアリスト」の映像ファイル（タイトル）が複数ある場合、左から順に再生されます。複数の映像ファイル（タイトル）を再生したい順に並べ替える場合の手順を説明します。

役立つ操作集

映像ファイルを加工する

取り込んだファイルの編集や加工には、「メディアを編集」のボタンを使用します。

【[詳細な編集]が表示されていない場合】

メディアを編集:
ビデオの高度な編集...
チャプタの追加/編集...
ビデオを合成/分離
詳細な編集
イントロビデオを再生してから、メニューを表示する

[ビデオの高度な編集]
選択したファイルにタイトルを入れたり、マイク（市販）を使用して、音声を追加したりできます。

[チャプタの追加/編集]
選択した映像ファイル（タイトル）内にチャプタを設定することができます。

[ビデオを合成/分離]
[ビデオを合成]は、選択している2つ以上の取り込んだファイルを、1つのファイル（タイトル）に合成します。[ビデオを分離]は、合成したファイル（タイトル）を元に戻します。

[詳細な編集]
[ビデオのカット編集]、[字幕を編集]、[メニューを作成]、[フェイスメニューを作成]ボタンを表示します。

[イントロビデオを再生してから、メニューを表示する]
チェックを付けると、最初の映像ファイル（タイトル）をDVDメニューが表示する前に再生します。

【[詳細な編集]が表示されている場合】

[ビデオのカット編集]
「マークイン」と「マークアウト」を設定することで、映像から必要な部分を抜き出す場合に使用します。
複数の部分を抜き出すこともできます。

[字幕を編集]
ファイルの情報や字幕を映像に追加することができます。

[メニューを作成]
チェックを付けると、DVDメニュー画面を作成することができます。

[フェイスメニューを作成]
＊TOSHIBA Quad Core HD Processor内蔵モデルのみ
顔deナビデータのDVDメニュー画面を作成することができます。

参照 「東芝グラフィカルビデオライブラリ」について
「4章 5 - 2 - 2 - 役立つ操作集 - 映像ファイルから顔deナビデータを作成する」

次は、DVDのメニュー画面を作成します。

DVDメニューを作成する

8 DVDメニューを作成する

① [次へ] をクリック

［テンプレートを選択してメニューを作成（ステップ：2/3)］画面が表示されます。
ここではあらかじめ用意されているDVDメニューを使います。

メモ

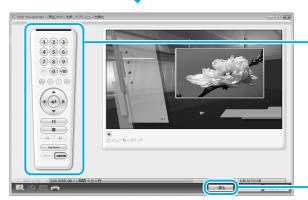
- DVDメニューの作成では、ここで説明している内容以外にも、次のような加工ができます。
  - ・音楽の追加
  - ・タイトルの追加
  - ・エフェクトの編集
  - ・DVDメニューの背景画像、文字入力やボタンの変更

  詳細については、「DVD MovieWriter」のヘルプを確認してください。

9 プレビュー画面で動作を確認する

DVDメニューの動作を確認することができます。

①［プレビュー］をクリック

作成したDVDメニューを確認できる画面に切り替わります。

②リモコンのボタンをクリックし、動作を確認する

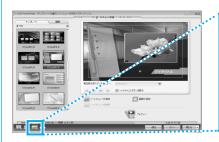
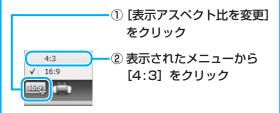
③クリックしてDVDメニュー作成画面に戻る

役立つ操作集

画面サイズを切り替える

購入時は16:9の画面サイズ用に作成する設定になっていますが、4:3の画面サイズにも対応した設定に切り替えることができます。

確認画面が表示されます。

③ [はい] をクリック

4:3の画面サイズに対応した表示に切り替わります。

編集途中のデータを保存する

編集中のデータを保存して、あとでDVDへの書き込みを行うことができます。

保存したデータを「プロジェクトファイル」と呼びます。
データの編集を再開するときは次の手順でプロジェクトファイルを呼び出します。

① [スタート] ボタン（ ）→ [すべてのプログラム] → [DVD MovieWriter for TOSHIBA] → [DVD MovieWriter Launcher] をクリックする
② [ホーム] → [ディスクの新規作成] をクリックする
③ [既存プロジェクト] をチェックし、ファイルを選択する
④ [OK] ボタンをクリックする

これで、編集したい映像を1つにまとめ、DVDメニューを作ることができました。
次は、DVDに書き込みます。

DVDに書き込む

10 書き込むディスクを設定する

① [次へ] をクリック

[テンプレートを選択してメニューを作成(ステップ：2/3)] 画面が表示されている場合は、手順②へ進んでください。

② [次へ] をクリック

[[書き込み] ボタンを押してディスクを作成(ステップ：3/3)] 画面が表示されます。

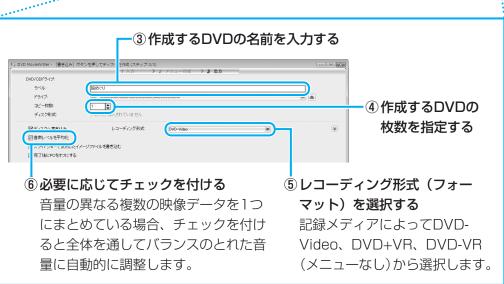
③ 作成するDVDの名前を入力する

④ 作成するDVDの枚数を指定する

⑤ レコーディング形式（フォーマット）を選択する

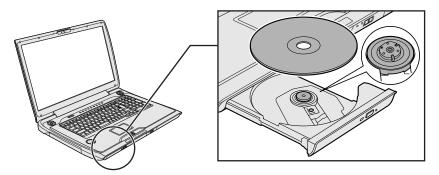
記録メディアによってDVD-Video、DVD+VR、DVD-VR（メニューなし）から選択します。

⑥ 必要に応じてチェックを付ける

音量の異なる複数の映像データを1つにまとめている場合、チェックを付けると全体を通してバランスのとれた音量に自動的に調整します。

参照 レコーディング形式（フォーマット）「本節 1 - DVDを用意する」

メモ

- DVDまたはハードディスクに書き出す前に、「付録 1 - 11 記録メディアへの書き込み／ハードディスクへの書き出しについて」をよくお読みください。

11 ドライブにDVDをセットする

■G50シリーズの場合

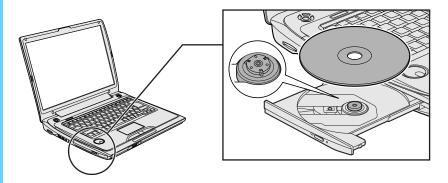
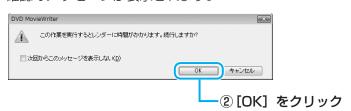
■F50シリーズの場合

12 DVDに書き込む

①［書き込み］をクリック

確認のメッセージが表示されます。

②［OK］をクリック

メモ

● 映像の書き込みには時間がかかる場合があります。

役立つ操作集

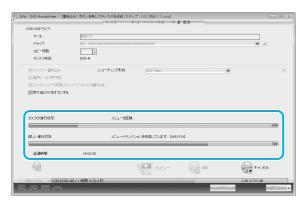
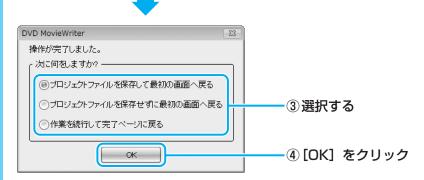
映像ファイルの長さを確認する

画面下部のメーターの色で、映像ファイルの長さを確認できます。緑色の部分は1枚のDVDに保存できますが、黄色や赤色の部分は、１枚のDVDの容量を超えています。映像ファイルを2枚のDVDにするか、いらない部分を削除してください。

また、メーターが超えている場合でも、映像の品質は落ちますが、長時間の映像ファイルを１枚のDVDに書き込むことが可能です（DVDピッタリ記録）。［書き込み］をクリックして、右のメッセージが表示されたときに［はい］をクリックしてください。

条件によりDVDに書き込めない場合もあります。書き込める条件の目安は、4.7GBのDVDの場合、DVD-EP（拡張再生）で録画した240分以下の映像ファイルです。

DVDの書き込みが始まります。

書き込みを開始すると画面に［タスクの進行状況］と［詳しい進行状況］が表示されます。

DVDの書き込みが終了すると、メッセージが表示されます。

DVDの書き込みが終了し、自動的にディスクトレイが開きます。

■③で［プロジェクトファイルを保存して最初の画面へ戻る］を選択した場合

作成・編集したデータを保存していない場合は、［名前を付けて保存］画面が表示されます。保存場所とファイル名を指定して、［保存］をクリックしてください。
保存したデータを「プロジェクトファイル」と呼びます。プロジェクトファイルは、あとから呼び出して、再編集することができます。プロジェクトファイルの呼び出し方法は、手順 9 の「役立つ操作集」を確認してください。

メモ

- 「DVD MovieWriter」のヘルプの起動方法は、「本節 1 DVDを作成する準備」を参照してください。

3 デジタルビデオカメラで撮影した映像を取り込む

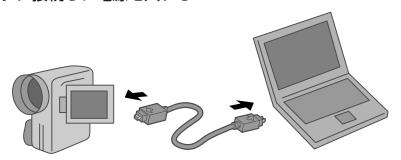
デジタルビデオカメラで撮影した映像や記録メディアの映像ファイルをパソコンに取り込むことができます。
ここではi.LINK（IEEE1394）コネクタを使った取り込み方法と、映像ファイルを取り込む方法をそれぞれ説明します。

1 i.LINK（IEEE1394）コネクタを使って、映像を取り込む

i.LINK（IEEE1394）対応のデジタルビデオカメラを、本製品のi.LINK（IEEE1394）コネクタに接続して、映像を取り込む方法について説明します。
お使いのデジタルビデオカメラがi.LINK（IEEE1394）接続に対応しているかどうかは、『デジタルビデオカメラに付属の説明書』を確認してください。
その他の方法で接続する場合は、デジタルビデオカメラと本製品の両方が対応している方法を確認して接続してください。

参照 本製品に用意されているコネクタ『いろいろな機能を使おう 1章 1 各部の名称』

参照 デジタルビデオカメラが対応している接続方法『デジタルビデオカメラに付属の説明書』

1 デジタルビデオカメラをパソコン本体のi.LINK（IEEE1394）コネクタに接続し、電源を入れる

参照 i.LINK対応機器の接続《パソコンで見るマニュアル（検索）：i.LINK対応機器の接続》

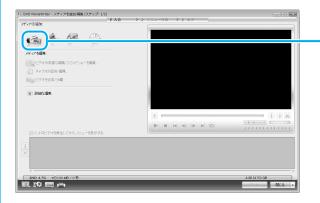
参照 デジタルビデオカメラの接続と電源の入れかた
『デジタルビデオカメラに付属の説明書』

2 ［DVDを作成 -DVD MovieWriter for TOSHIBA使用］をクリックする

（表示例）

「DVD MovieWriter」が起動します。

■HDV規格対応ビデオカメラを接続した場合

HDV規格対応ビデオカメラをHDVの録画規格に設定して接続した場合は、［自動再生］画面は表示されません。
「本節 2 映像ファイルをDVDにする」の手順 2 から 4 と同じ操作を行ったあと、［メディアを追加/編集（ステップ：1/3）］画面で、次のように入力装置を切り替えてください。

①［ビデオをキャプチャ］をクリック

■初めて接続した場合

「DVD MovieWriter」起動後に初めてデジタルビデオカメラを接続した場合、［Corel Capture Manager］画面が表示される場合があります。

［OK］をクリックしてください。

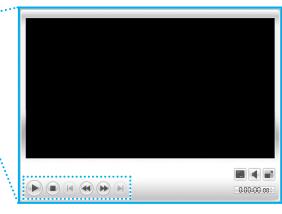
3 取り込む映像の設定をする

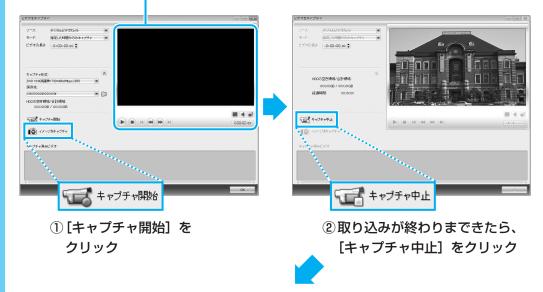
[ソース]
デジタルビデオカメラの場合は［デジタルビデオカメラ］、HDV規格対応ビデオカメラの場合は［高画質デジタルビデオカメラ］を選択してください。

[ナビゲーションコントロール]
映像の再生や停止、録画などを操作する画面です。

取り込む映像の録画品質と保存先を設定できます。
これらが表示されていない場合は、［高度なキャプチャ設定を表示/非表示］ボタン（ ）をクリックしてください。

［キャプチャ形式］で次の録画品質を設定できます。HDV規格対応ビデオカメラの場合は、「MPEG」のみ設定できます。

・DVD 4:3（高画質：720×480, 6Mbps, CBR）
・DVD16:9（高画質：720×480, 6Mbps, CBR）
・AVI

①**録画開始位置を確認する**
［再生（一時停止）］、［停止］、［早送り］、［先送り］の各ボタンを操作してデジタルビデオカメラの映像を［ナビゲーションコントロール］に表示することができます。
録画を始めるところまで再生したら、［停止］または［一時停止］ボタンをクリックしてください。

4 映像を取り込む

「キャプチャ済みビデオ」に映像ファイルが表示され、映像が取り込まれました。

複数のテープから映像を取り込みたい場合は、デジタルビデオカメラのテープを入れ替えて手順 3 ～ 4 を繰り返してください。

5 デジタルビデオカメラの電源を切り、パソコンと接続しているケーブルを取りはずす

6 ［OK］ボタンをクリックする

［プロジェクト形式］画面に切り替わります。
続けて、取り込んだ映像を編集して、DVDに残すことができます。
以降の操作は、「本節 2 映像ファイルをDVDにする」の手順 4 に進んでください。

2 映像ファイルを取り込む

内蔵されたハードディスクまたは記録メディアに録画するビデオカメラや、CD／DVD、メディアカードなどの記録メディアから、映像ファイルをパソコンのハードディスクに取り込むことができます。

1 デジタルビデオカメラをパソコン本体に接続する、または記録メディアをセットする

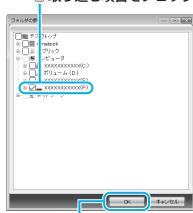
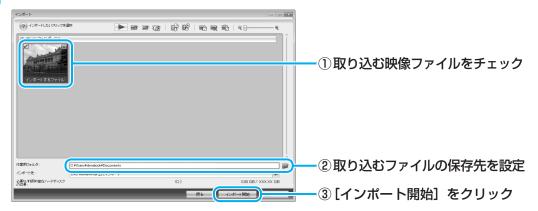
接続またはセット方法は、『いろいろな機能を使おう』、《パソコンで見るマニュアル》を確認してください。

2 「DVD MovieWriter」を起動する

「本節 2 映像ファイルをDVDにする」の手順 2 から 4 と同じ操作を行ったあと、［メディアを追加/編集（ステップ：1/3)］画面に進んでください。

3 ［フォルダからビデオをインポート］をクリックする

［インポート］画面が表示されます。

4 取り込む項目を選択して、［開始］ボタンをクリックする

5 ハードディスクに取り込む映像をチェックし、取り込みを開始する

■［自動再生］画面から取り込む

TOSHIBA Quad Core HD Processor内蔵モデルでは、接続やセットしたときに表示される［自動再生］画面から、ハードディスクに映像ファイルを取り込むことができます。

［インポート］画面が表示されます。

メモ

- 「DVD MovieWriter」のヘルプの起動方法は、「本節 1 DVDを作成する準備」を参照してください。

「DVD MovieWriter for TOSHIBA」のお問い合わせ先

コーレル株式会社 インタービデオ テクニカルサポート

お問い合わせの前にホームページ（http://www.corel.jp/support/）をご確認ください。
当製品の無償サポート期間は、ご購入後1年間となります。

受付時間　：月～金　10:00～12:00、13:30～17:30
（12:00～13:30、土日祝祭日、ならびに弊社指定休業日を除く）
TEL　：045-226-3899
FAX　：045-226-3895
E-mail　：メールでのお問い合わせは、以下のURLに掲載されている専用のメールフォームをご利用ください。
http://www.corel.jp/support/
ホームページ：http://www.corel.jp/

4 章

もっと音楽と映像を楽しむ

DVDを見る方法や、音楽CDを聴く方法、写真データを見る方法について説明しています。
また、ホームネットワークや「Windows Media Center」を使って映像や音楽を楽しむ方法も説明しています。

1 DVDの映画や映像を見る

本製品では、DVDの再生ができます。
Windows上でDVDを再生するには、「TOSHIBA DVD PLAYER」を使います。

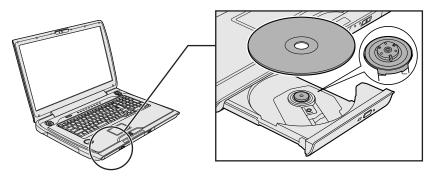
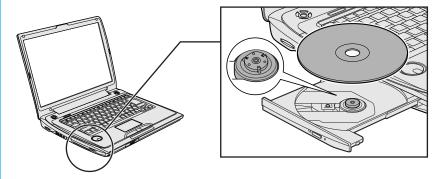
メモ

- DVDを再生する場合、「TOSHIBA DVD PLAYER」を使用してください。
「Windows Media Player」やその他の市販ソフトを使用してDVDを再生すると、表示が乱れたり、再生できないことがあります。

1 TOSHIBA DVD PLAYERで見る

ここでは、「TOSHIBA DVD PLAYER」でDVDの映像を見る方法を説明します。
「TOSHIBA DVD PLAYER」を使う前に、「付録 1 - 10 DVDの再生にあたって」をよくお読みください。

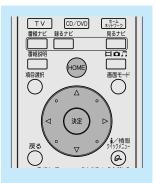
1 Windowsが起動している状態で、ドライブにDVDをセットする

■G50シリーズの場合

■F50シリーズの場合

［自動再生］画面が表示された場合は、［閉じる］ボタン（ ）をクリックしてください。

2 リモコンの［HOME］ボタンを押す

「Qosmio AV Center」が起動します。

3 リモコンの方向ボタン（上下）で、［CD／DVD］を選択し、［決定］ボタンを押す

「TOSHIBA DVD PLAYER」が起動します。
詳細は、「TOSHIBA DVD PLAYER」のヘルプを参照してください。

■TOSHIBA DVD PLAYERについて

- 付属のリモコンを使って再生操作を行うことができます。

参照 リモコン操作について《パソコンで見るマニュアル（検索）：リモコン操作一覧》

- 「TOSHIBA DVD PLAYER」は、［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA DVD PLAYER］→［TOSHIBA DVD PLAYER］をクリックして起動することもできます。
- 「TOSHIBA DVD PLAYER」は、手順 1 のあとでリモコンまたはフロントオペレーションパネルの［CD/DVD］ボタンで起動することもできます。

ヘルプの起動方法

「TOSHIBA DVD PLAYER」についての詳細は、ヘルプを確認してください。
起動方法は次のとおりです。

1 映像ウィンドウ右上の ? ボタンをクリックする

「TOSHIBA DVD PLAYER」のお問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

東芝PCあんしんサポートの連絡先は、裏表紙を参照してください。

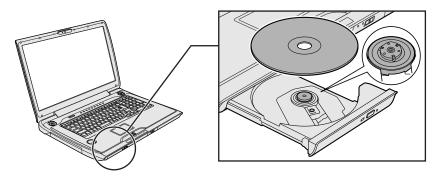
2 音楽を聴く

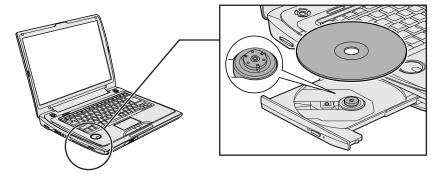
本製品で音楽CDを聴くためには、「Windows Media Player」を使います。

「Windows Media Player」では、音楽CDを聴いたり、音楽ファイルを作ったり、好きな音楽ファイルをまとめて1つのリストを作ることもできます。
ここでは、「Windows Media Player」の基本的な使いかたを説明します。

1 音楽CDを聴く

ここでは、リモコンで音楽CDを聴く方法を説明します。

1 ドライブに音楽CDをセットする

■G50シリーズの場合

■F50シリーズの場合

［自動再生］画面が表示された場合は、［閉じる］ボタン（ ）をクリックしてください。

2 起動する

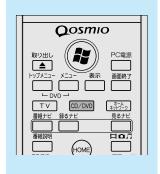
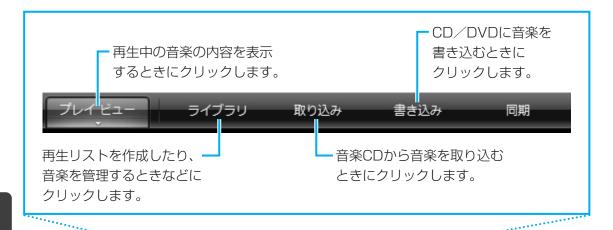
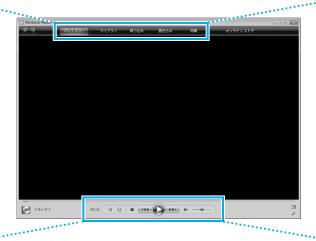
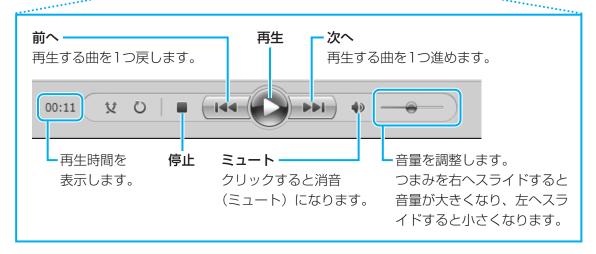
① リモコンの［CD/DVD］ボタンを押す

初めて起動したときは、［Windows Media Player 11 for Windows Vistaへようこそ］画面が表示されます。
表示された画面の指示に従って操作してください。

メモ

- リモコンの［CD/DVD］ボタンの代わりに、パソコン本体のフロントオペレーションパネルの［CD/DVD］ボタンに触れて起動することもできます。
- 「Windows Media Player」は、［スタート］ボタン（）→［すべてのプログラム］→［Windows Media Player］をクリックして起動することもできます。

3 音楽を聴く

自動的にCDの1曲目から再生されます。
付属のリモコンで再生操作を行うことができます。

操作画面

詳細についてはヘルプを参照してください。
［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［Windows Media Player］をクリックして起動し、各メニューで［▼］をクリックし、［XXXXについてのヘルプ］をクリックすると表示されます。

■ Windows Media Playerの終了方法

「Windows Media Player」の操作画面を終了する方法について説明します。

1 リモコンの［画面終了］ボタンを押す

デスクトップ画面に戻ります。

メモ

- リモコンで「Windows Media Player」を操作することもできます。

  参照 リモコンの操作について《パソコンで見るマニュアル（検索）：リモコン操作一覧》
- 音楽ファイルを好きな順番に並べてまとめ、自分だけの演奏リストを作成できます。これを「再生リスト」と呼びます。

  参照 再生リストについて《パソコンで見るマニュアル（検索）：再生する順番を決める》
- 「CD/DVD静音ユーティリティ」を使って、音楽CDを聴くときに、ドライブの動作音を小さくすることができます。

  参照 CD/DVD静音ユーティリティについて
  《パソコンで見るマニュアル（検索）：ドライブの動作音を小さくする》

「Windows Media Player」のお問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

東芝PCあんしんサポートの連絡先は、裏表紙を参照してください。

3 オリジナル音楽CDを作る

オリジナルの音楽CDを作るには、「TOSHIBA Disc Creator」を使います。パソコンに音楽CDから曲を取り込んで、好きな曲を1つのCDにまとめることができます。

オリジナル音楽CDを作るには、CD-RW、CD-Rを使います。推奨するメーカのCDを用意してください。

参照 推奨するメーカ『dynabook ＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』

作成したCD-RWは、再生機器によっては、再生できないことがあります。

メモ

- 音楽CDを作る前に、「付録 1 - 11 記録メディアへの書き込み／ハードディスクへの書き出しについて」、「付録 1 - 13 「TOSHIBA Disc Creator」を使うために」をよくお読みください。

1 オリジナル音楽CDを作る

操作の流れ

操作は次の流れで行います。

音楽CDから曲（音楽ファイル）をパソコンに取り込む

▼

音楽ファイルの曲順を入れ替える

▼

CDに書き込む

本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

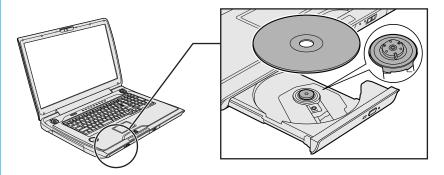
参照 「巻頭 はじめに- 6 著作権について」

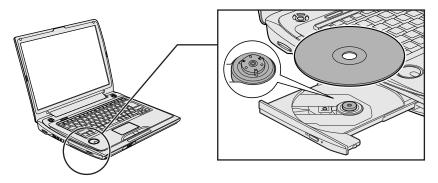
音楽ファイルを取り込む

1 ［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA］→［CD&DVDアプリケーション］→［Disc Creator］をクリックする

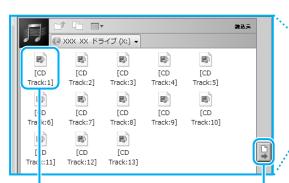
2 ［音楽CD作成］をクリックする

手順 2 のあと、音楽CDの情報をインターネットから取得するための「Windows Media Player」の設定に関する画面が表示される場合があります。必要に応じて「Windows Media Player」の設定を行ってください。設定方法については、「Windows Media Player」のヘルプを参照してください。

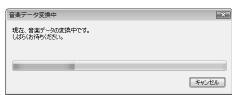
3 ドライブに音楽CDをセットする

■G50シリーズの場合

■F50シリーズの場合

［自動再生］画面が表示された場合は、［閉じる］ボタン（ ）をクリックしてください。

4 ドライブを選択する

5 書き込みたい曲（トラック）を選択する

①書き込みたい曲をクリック

曲は、「Track」と表示されます。曲を複数選択したい場合は、CTRL キーを押したまま目的の曲をクリックしてください。

②［書き込み先にデータを追加する］をクリック

選択した曲を、いったんパソコンのハードディスクに取り込みます。取り込みの進捗状態が表示されます。

書き込む曲の一覧

6 音楽CDを入れ替え、手順 5 を繰り返す

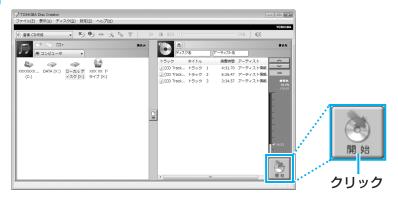
ほかの音楽CDからも曲を取り込みたい場合に行ってください。

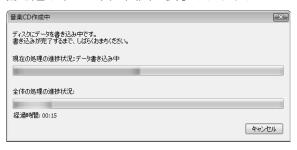
メモ

- 曲順を入れ替えたい場合には、トラックを選択して移動したい位置へドラッグアンドドロップします。

CDに書き込む

7 ドライブから音楽CDを取り出し、未使用のCD-R、CD-RWまたは消去してよいCD-RWをセットする

8 ［開始］ボタンをクリックする

9 メッセージを確認し、［はい］ボタンをクリックする

書き込み中は、次の画面が表示されます。

CDの書き込みが終了すると、自動的にディスクトレイが開きます。

10 ［いいえ］ボタンをクリックする

さらに同じ内容のCDを作りたい場合は、未使用のCDと入れ替えて、［はい］ボタンをクリックしてください。

ヘルプの起動方法

「TOSHIBA Disc Creator」についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。

「TOSHIBA Disc Creator」のお問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

東芝PCあんしんサポートの連絡先は、裏表紙を参照してください。

4 音楽や映像の環境を整える

本製品には、より良い状態でパソコンを楽しんでいただくために、画質や音質を調整する機能が用意されています。目的に合わせてご使用ください。

1 Qosmio AV Centerの映像を調整する

本製品には、「Qosmio AV Center」上でテレビを見たり録画映像を見たりする場合に、映像をより見やすく調整するための機能が用意されています。

1 起動する

①リモコンの［HOME］ボタンを押す

「Qosmio AV Center」が起動します。

②リモコンの方向ボタンで［設定］を選択し、［決定］ボタンを押す

③タッチパッドまたはマウスで［表示設定］をクリック

2 各項目を、目的や好みに合わせて設定する

各項目の詳細は、「Qosmio AV Center」のヘルプを参照してください。

2 状況に合わせて、音質や音量を調整する

本製品にはCD／DVDやテレビ、ビデオカメラの映像を再生するときなどに音質や音量を調整する機能が用意されています。

- **スピーカの音量を調整する**

  ボリュームダイヤル、または「音量ミキサ」を使用します。

  参照 ボリュームダイヤルの位置『いろいろな機能を使おう 1章 1 各部の名称』

  参照 「音量ミキサ」《パソコンで見るマニュアル（検索）：スピーカの音量調整》

- **音楽CDを聴くときに、ドライブの動作音を小さくする**

  「CD/DVD静音ユーティリティ」を使用します。

  参照 《パソコンで見るマニュアル（検索）：ドライブの動作音を小さくする》

- **オーディオ機能の設定を変更する**

  「Realtek HD オーディオマネージャ」を使用します。

  参照 《パソコンで見るマニュアル（検索）：Realtek HD オーディオマネージャについて》

5 見たい人物が登場するシーンを探したい

＊TOSHIBA Quad Core HD Processor内蔵モデルのみ

「顔deナビ」では、録画したテレビ番組やビデオ映像などに登場する人物の「顔」を検出して、サムネイル表示するため、見たい人物が登場するシーン（時間帯）を探すことができます。
表示された「顔」の画像をクリックすれば、その人物が登場するシーンから映像を再生することができます。

録画したテレビ番組から探す場合とビデオ映像から探す場合とでは、手順が異なります。

録画したテレビ番組から探す

操作は次の流れで行います。

「Qosmio AV Center」で、顔deナビデータを作成しながらテレビ番組を録画する

▼

「顔deナビ」で表示／再生する

ビデオ映像・映像ファイルから探す

操作は次の流れで行います。

映像を用意する

参照 デジタルビデオカメラで撮影した映像を取り込む場合
「3章 1 - 3 デジタルビデオカメラで撮影した映像を取り込む」

▼

顔deナビデータを作成する

参照 「東芝グラフィカルビデオライブラリ」を使用して、インデクシングを行う場合
「本節 2 - 2 - 役立つ操作集 - 映像ファイルから顔deナビデータを作成する」

参照 記録メディアに保存している映像ファイルを取り込むときに、インデクシングを行う場合
「本節 1 - 役立つ操作集 - 映像ファイルを取り込むときに、顔deナビデータを作成する」

参照 映像ファイルを作成するときに、インデクシングを行う場合
「3章 1 - 2 映像ファイルをDVDにする」手順 3 の「役立つ操作集」

▼

「顔deナビ」で表示／再生する

参照 「顔deナビ」のヘルプ「本節 2 - 2 - ヘルプの起動方法」

ここでは、録画したテレビ番組から探す場合の操作手順を説明します。
ビデオ映像から探す場合の操作方法は、「本節 2 - 2 - 役立つ操作集 東芝グラフィカルビデオライブラリ」と「顔deナビ」のヘルプを確認してください。

メモ

- 「顔deナビ」を使用する前に、「付録 1 - 9 「顔deナビ」の使用にあたって」をよくお読みください。

1 顔deナビデータを作成しながらテレビ番組を録画する

盛り上がっているシーンを探すには、「顔deナビデータ」を作成する必要があります。
「Qomio AV Center」では、地上デジタル放送のテレビ番組を録画するのと同時に、顔deナビデータを作成することができます。

操作方法は、「2章 2 - 1 - 2 「番組ナビ」で録画予約する」を参照してください。その際、必ず手順 4 で、［顔deナビデータ］の［作成する］にチェックを付けてください。

メモ

- 顔deナビデータを作成したテレビ番組には、「見るナビ」画面のサムネイルに（ ）が表示されます。
- 顔deナビデータは、録画と同時に作成できるだけでなく、録画が終了した番組からでも作成することができます。詳しくは「Qosmio AV Center」のヘルプを参照してください。

役立つ操作集

映像ファイルを取り込むときに、顔deナビデータを作成する

CD／DVD、USBフラッシュメモリなどの記録メディアに映像ファイルが入っている場合、記録メディアをセットしたときに表示される［自動再生］画面より、「顔deナビデータ」を作成しながら、ハードディスクに取り込むことができます。

① 記録メディアをセットする
　記録メディアのセットについては、『いろいろな機能を使おう』を確認してください。
　［自動再生］画面が表示されます。
② ［ビデオ／画像の取り込み］をクリックする
　［アプリケーションの選択］画面が表示されます。
③ ［Graphical Video Libraryにインポート］をクリックする
　［インポート］画面が表示されます。
④ パソコンに取り込むファイルをチェックし、［インポート開始］をクリックする
　ファイルの取り込みと、「顔deナビデータ」の作成を開始します。
　終了後、「東芝グラフィカルビデオライブラリ」が表示されます。

参照 「本節 2 - 2 - 役立つ操作集 - 映像ファイルから顔deナビデータを作成する」

2 顔deナビで表示／再生する

作成した顔deナビデータを、「顔deナビ」で表示／再生します。
映像ファイルの「顔deナビ」を表示／再生する場合は、「東芝グラフィカルビデオライブラリ」を使用します。

参照 「本項 - 2 - 役立つ操作集 - 映像ファイルから顔deナビデータを作成する」

1 顔deナビを起動する

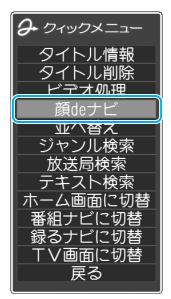
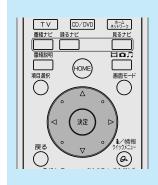
「Qosmio AV Center」の「見るナビ」画面から起動します。

1 リモコンの［見るナビ］ボタンを押す

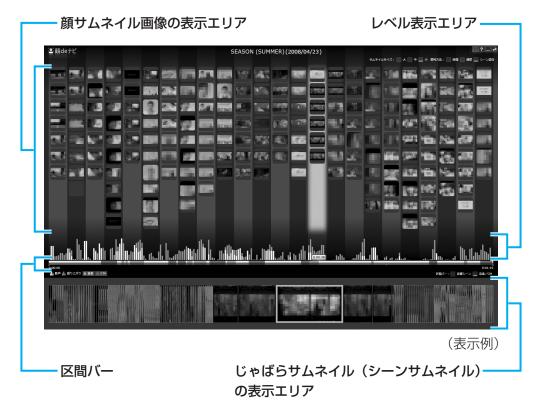
2 リモコンの方向ボタンで、顔deナビデータを作成した録画番組を選択し、［クイックメニュー］ボタンを押す

3 リモコンの方向ボタンで［顔deナビ］を選択し、［決定］ボタンを押す

「顔deナビ」が起動します。

4章 もっと音楽と映像を楽しむ

「顔deナビ」の画面について

ここでは、「顔deナビ」の画面の主な機能を説明します。
詳しい内容や操作方法は、「顔deナビ」のヘルプを参照してください。

（表示例）

各エリアの機能は、次のとおりです。

■顔サムネイル画像の表示エリア

顔deナビデータを作成した映像ファイル内に登場する人物の「顔」をサムネイル表示します。
画面の左端が映像ファイルの開始時、右端が終了時となっており、その時間内で出現頻度の高い人物の顔を表示します。
画像をクリックすると、その画像が含まれる場面の時刻またはその約2秒前（設定により変わります）より再生を行います。

■レベル表示エリア

映像ファイル内の「歓声」や「盛り上がり」を棒グラフで表示します。
グラフの高い部分が歓声や盛り上がりが大きかった部分です。

■区間バー

左端を映像ファイルの開始時点、右端を映像ファイルの再生終了時点とした時間軸を表示します。
また、映像ファイル内の「音楽」や「コマーシャル」の区間を色分けして表示します。

■じゃばらサムネイル（シーンサムネイル）の表示エリア

じゃばらサムネイルの映像にポインタを置くと、そのシーンのサムネイル画像が表示されます。
ここで画像をクリックすると、そのシーンから再生を行います。

2 見たい人物が登場するシーンから再生する

1 「顔サムネイル画像の表示エリア」で見たい人物の顔画像をクリックする

（表示例）

「Qosmio AV Center」で再生が始まります。

ヘルプの起動方法

「顔deナビ」の詳細は、ヘルプを確認してください。「顔deナビ」の画面右上に起動するボタンがあります。

（表示例）

役立つ操作集

映像ファイルから顔deナビデータを作成する －東芝グラフィカルビデオライブラリー

「DVD MovieWriter」で取り込んだビデオ映像ファイルから顔deナビデータを作成するには、「東芝グラフィカルビデオライブラリ」を使用します。

「東芝グラフィカルビデオライブラリ」では、次のことが行えます。

・映像ファイルから顔deナビデータを作成する
・「顔deナビ」を起動する
・SD画像をHD画像に変換する（アップコンバート機能）

参照 詳細について「本章 10-3 映像をもっときれいに表示したい」

・iPod用の映像ファイルを作成する
・映像ファイルを再生する

■「東芝グラフィカルビデオライブラリ」の起動方法

① [スタート] ボタン（ ）→ [すべてのプログラム] → [TOSHIBA Quad Core HD Processor] → [東芝グラフィカルビデオライブラリ] をクリックする

「東芝グラフィカルビデオライブラリ」が起動し、コンテンツ一覧表示画面が表示されます。

● 「東芝グラフィカルビデオライブラリ」の画面について

（表示例）

フォルダの中から目的の映像ファイルを探してください。

「東芝グラフィカルビデオライブラリ」の詳細は、ヘルプを参照してください。

■「東芝グラフィカルビデオライブラリ」のヘルプの起動方法

①「東芝グラフィカルビデオライブラリ」を起動後、画面右上の（ ? ）をクリックする

「顔deナビ」のお問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

東芝PCあんしんサポートの連絡先は、裏表紙を参照してください。

6 デジタルカメラの写真を見る

デジタルカメラで撮った写真などの画像を閲覧するには、「Windows フォト ギャラリー」を使用します。スライドショー形式で見ることができたり、画像に情報を加えて管理しやすくすることもできます。

1 写真を見る

ここでは、デジタルカメラで撮った写真など、フォト ギャラリーで管理されている画像を見る場合の手順について説明します。

1 **［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［Windows フォト ギャラリー］をクリックする**

「Windows フォト ギャラリー」が起動します。

フォト ギャラリーでは、すべての画像やビデオを一覧できるほか、フォルダ、撮影日、評価、タグごとなどに分けて管理することができます。

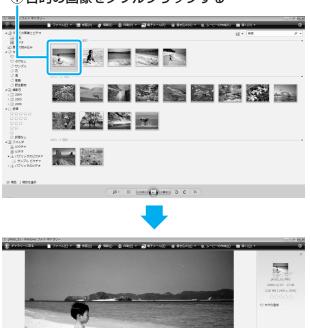
2 **画像が管理されているカテゴリを選択する**

ここでは、［ピクチャ］フォルダに保存されているすべての画像が一覧表示できる［画像］を選択します。

① **［画像］をクリックする**

画像が表示されます。

3 目的の画像を拡大表示する

①目的の画像をダブルクリックする

拡大表示画面に切り替わります。

続けて次の画像を拡大表示したい場合は、画面下部の［進む］ボタン（ ▶▎ ）をクリックしてください。

メモ

- 画像の表示や検索の他にも、画像の色や明るさなどを調整したり、トリミングすることができます。詳細はヘルプを確認してください。

ヘルプの起動方法

「Windows フォトギャラリー」についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。

①［ヘルプ］ボタンをクリックする

2 写真のデータをCD／DVDにコピーする

本製品に用意されている「TOSHIBA Disc Creator」を使用して、デジタルカメラで撮った写真のデータをCD／DVDにコピーすることができます。

参照 データをCD／DVDにコピーする
『準備しよう 4章 2-3 CD／DVDにデータのバックアップをとる』

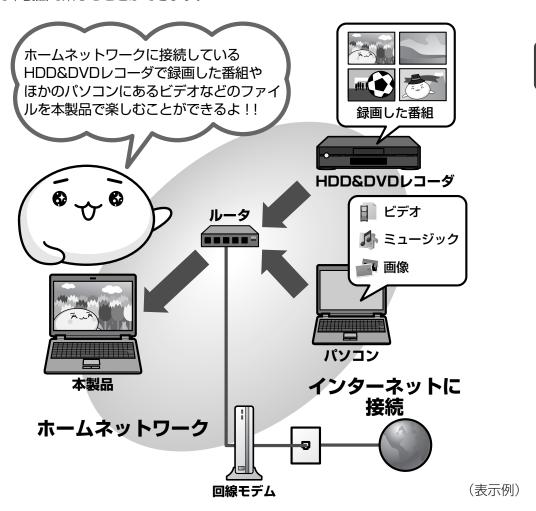
「Windows フォト ギャラリー」のお問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

東芝PCあんしんサポートの連絡先は、裏表紙を参照してください。

7 ホームネットワークを楽しむ

「CyberLink SoftDMA for TOSHIBA」（SoftDMA）を使うと、ホームネットワークに接続しているHDD&DVDレコーダや本製品以外のパソコンなどから、それぞれ録画・保存している映像・音楽・画像などのコンテンツを受信して、本製品で楽しむことができます。
ホームネットワークに接続しているHDD&DVDレコーダなどがDTCP-IPに対応している場合は、HDD&DVDレコーダに保存されているデジタル放送の録画コンテンツを、「SoftDMA」を使って本製品で楽しむことができます。

（表示例）

詳細については、《パソコンで見るマニュアル（検索）：ホームネットワークを楽しもう》を参照してください。

メモ

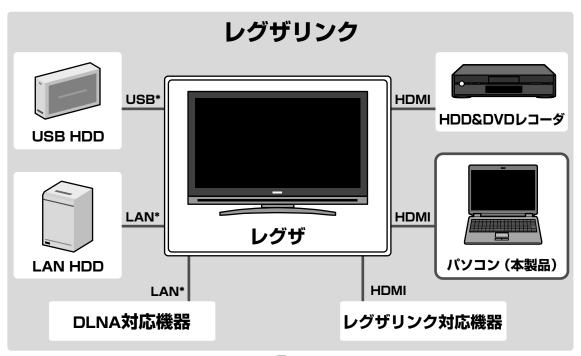
- 「ホームネットワーク」とは、ルータなどを使い、家庭内でLAN（Local Area Network）機能のある機器を接続したネットワークのことです。
  ホームネットワークにパソコンやHDD&DVDレコーダ、テレビを接続すると、接続した機器に保存されている映像・画像・音楽コンテンツを楽しむことができます。
- リモコンで「SoftDMA」を操作することもできます。

参照 リモコンの操作について《パソコンで見るマニュアル（検索）：リモコン操作一覧》

8 レグザリンクを使う —HDMI 連動—

1 レグザリンクとは

レグザリンクを使うと、東芝製液晶テレビ「レグザ*1」に接続している外部機器を、レグザに付属のリモコンで操作することができます。

＊1 レグザリンクに対応しているレグザのみ

*各機器に対応しているレグザのみ

レグザリモコンから
レグザリンクで接続している
機器を操作

メモ

- レグザリンクについては、『レグザに付属の取扱説明書』と「付録 1 - 14 レグザリンクについて」をよくお読みください。
- レグザリンクに対応している機種の最新情報は、次のホームページでも確認することができます。
  URL：http://www.toshiba.co.jp/digital/regzalink/

本製品で使用できる機能について

レグザが対応している外部機器との接続方法は、HDMI、ネットワーク（LAN）、USBの3種類あります。

参照 対応している外部機器『レグザに付属の取扱説明書』

本製品では、HDMIケーブルを使った接続によるレグザリンク（HDMI連動）により、次のアプリケーションをレグザに付属のリモコンで操作して、映像を再生することができます。

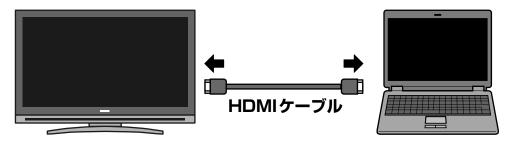
- Qosmio AV Center
- TOSHIBA DVD PLAYER
- Windows Media Center

各アプリケーションの操作方法については、本書の説明や各ヘルプを参照してください。

レグザのリモコンの操作方法については、『レグザに付属の取扱説明書』を参照してください。ここでは、レグザリンクを使った操作方法を紹介します。

2 レグザリンクの操作方法

レグザリンクを使うには、次のようにパソコン本体とレグザを設定してください。

①パソコン本体とレグザリンクに対応したレグザをHDMIケーブルで接続する

参照 HDMIケーブルでの接続方法について
『レグザに付属の取扱説明書』
『いろいろな機能を使おう 3章 4 パソコンの画面をテレビに映す』

②接続したレグザの主電源を入れる

接続したレグザの主電源を切っていると、レグザリンクが使えません。
必ず、レグザの主電源を入れてください。

③パソコン本体の電源を入れる

④デスクトップ上の［HDMI出力］アイコン（ HDMI出力 ）をダブルクリックする

レグザの電源がオンになり、パソコンのデスクトップ画面がテレビに表示されます。

すでに「TOSHIBA Flash Cards」などで表示装置を「HDMI」に設定している場合は、手順④の操作を行うと、本体液晶ディスプレイにだけ表示する設定に戻ります。再度、デスクトップ上の［HDMI出力］アイコン（ HDMI出力 ）をダブルクリックするか、FN＋F5キーを押して、表示装置を切り替えてください。

9 Windows Media Centerで映像や音楽を楽しむ

「Windows（ウィンドウズ） Media（メディア） Center（センター）」は、音楽を聴いたり、写真や映像を見たり、オンデマンドでゲームをしたりというような、さまざまなエンターテイメント機能の入り口を1つにまとめた機能です。

1 Windows Media Centerについて

メモ

- 「Windows Media Center」を使用する前に、「付録 1-15 「Windows Media Center」の使用にあたって」をよくお読みください。
- 「Windows Media Center」の操作は、リモコンを使うと便利です。

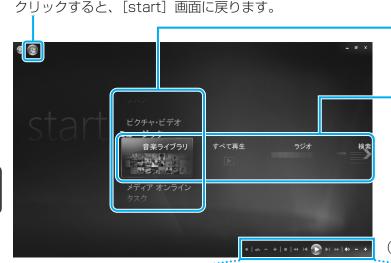
1 起動方法

1 リモコンの［スタート］ボタンを押す

「Windows Media Center」が起動します。

初めて起動したときは、［ようこそ］画面が表示されます。画面の指示に従ってセットアップを行ってください。なお、あとからセットアップを行うこともできます。
セットアップが終了すると、「Windows Media Center」のメインメニューが表示されます。

2 Windows Media Centerの画面について

画面上部のボタンやトランスポートコントロールは、画面にポインタを合わせると表示されます。

再生／一時停止、停止、前の項目に戻る、次の項目に進む、音量調整などが、リモコンと同じように操作できます。

メインメニューについて

メインメニューの項目は次のとおりです。

ピクチャ・ビデオ	フォルダに保存してある写真やデジタルビデオカメラなどから取り込んだ映像を見ることができます。
ミュージック	音楽CDを聴いたり、音楽ファイルを再生することができます。
メディア オンライン	「メディア オンライン」という専用サイトに用意されているプログラム（音楽・映画・ゲームなど）を利用することができます。
タスク	パソコンのシャットダウンやCD／DVDへの書き込みを行ったり、「Windows Media Center」の各種設定を行うことができます。

本製品では、「Windows Media Center」のテレビ機能はお使いになれません。

項目を選択するには、リモコンの方向ボタンを使用します。
選択した項目を実行するには、［決定］ボタンを押してください。
各項目のメイン画面が表示されます。

メモ

- リモコンで「Windows Media Center」を操作することもできます。

参照 リモコンの操作について《パソコンで見るマニュアル（検索）：リモコン操作一覧》

ヘルプの起動方法

「Windows Media Center」についての詳細は、『Windowsヘルプとサポート』を確認してください。
起動方法は、次のとおりです。

1 ［スタート］ボタン（ ）→［ヘルプとサポート］をクリックする

2 知りたいことを検索する

①知りたい内容を入力する
ここでは例として「Windows Media Center」と入力します。

②［ヘルプの検索］をクリック

「Windows Media Center」のお問い合わせ先

東芝（東芝PCあんしんサポート）

東芝PCあんしんサポートの連絡先は、裏表紙を参照してください。

10 もっと音楽と映像を楽しむには

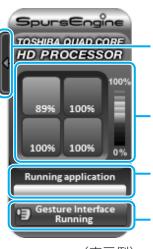
ここでは、もっと音楽と映像を楽しむのに役立つ機能を紹介します。

1 東芝HDコンソール

＊ TOSHIBA Quad Core HD Processor内蔵モデルのみ

「東芝HDコンソール」では、「TOSHIBA Quad Core HD Processor」のそれぞれのコアの使用率を表示したり、「TOSHIBA Quad Core HD Processor」を応用したアプリケーションなどを起動したりすることができます。
「東芝HDコンソール」は、デスクトップのサイドバーに表示されています。

■「東芝HDコンソール」の画面について

「東芝HDコンソール」の画面の主な機能は次のとおりです。

クリックすると、サイド画面（「TOSHIBA Quad Core HD Processor」を応用したアプリケーションなどを起動することができる画面）が表示されます。

「TOSHIBA Quad Core HD Processor」のそれぞれのコアの使用率を表示します。

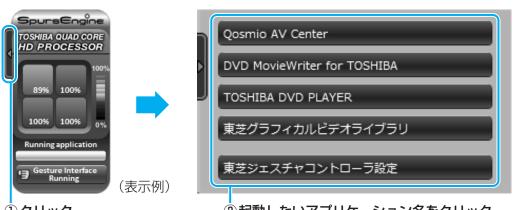
現在「TOSHIBA Quad Core HD Processor」を使用しているアプリケーションなどの名称を表示します。

クリックすると、「東芝ジェスチャコントローラ」が起動します。
＊ G50シリーズのみ

（表示例）

「東芝HDコンソール」のサイド画面では、「TOSHIBA Quad Core HD Processor」を応用したアプリケーションなどを起動することができます。
起動できるアプリケーションは、次のとおりです。

- Qosmio AV Center
- DVD MovieWriter for TOSHIBA
- TOSHIBA DVD PLAYER
- 東芝グラフィカルビデオライブラリ
- 東芝ジェスチャコントローラの設定画面（G50シリーズのみ）

（表示例）　（表示例）

2 「東芝ジェスチャコントローラ」を使う

＊G50シリーズのみ

「東芝ジェスチャコントローラ」は、「Qosmio AV Center」や「TOSHIBA DVD PLAYER」などで映像・音楽を視聴するときに、パソコン本体に付属のWebカメラを使って、マウスやリモコン操作の代わりに手の動作で操作できる機能です。
次のようなアプリケーションに対して、ジェスチャで操作ができます。

- Qosmio AV Center
- TOSHIBA DVD PLAYER
- 東芝グラフィカルビデオライブラリ
- Windows Media Center
- Internet Explorer
- Microsoft Office Power Point
- Windows Media Player

「東芝ジェスチャコントローラ」の起動方法

「東芝ジェスチャコントローラ」を起動するには、次のように操作してください。

1 サイドバーにある［TOSHIBA QUAD CORE HD PROCESSOR］の［Gesture Interface Launch button］をクリックする

ジェスチャ操作の待機画面が表示されます。

この画面を、「プレビュー画面」と呼びます。プレビュー画面にWebカメラの正面の様子が映っていることを確認してください。このとき、プレビュー画面に表示される映像は、鏡に映っているように反転します。
通知領域には、状態表示アイコン（ ）が表示されます。

詳しい操作方法については、「東芝ジェスチャコントローラ」のヘルプを参照してください。
ヘルプを表示するには、通知領域の状態表示アイコン（ ）を右クリックし、表示されたメニューから［ヘルプ］をクリックしてください。

3 映像をもっときれいに表示したい

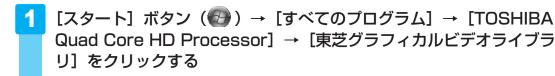
＊TOSHIBA Quad Core HD Processor内蔵モデルのみ

「東芝グラフィカルビデオライブラリ」のアップコンバート機能を使えば、SD画像をHD画像に変換することができ、高画質できれいな映像にして表示することができます。
また、画質を変換する際は、CPUに負荷をかけず、高速に処理を行うことができます。

お願い

- 映像ファイルによっては、アップコンバート機能が適用されない場合があります。
- 著作権保護されている映像ファイル（市販のDVDなど）を使用することはできません。

「東芝グラフィカルビデオライブラリ」の起動方法

1 ［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA Quad Core HD Processor］→［東芝グラフィカルビデオライブラリ］をクリックする

詳しい操作方法については、「東芝グラフィカルビデオライブラリ」のヘルプを参照してください。
ヘルプを表示するには、「東芝グラフィカルビデオライブラリ」を起動後、画面右上の（ ）をクリックしてください。

4 YouTubeの動画をもっときれいに表示したい

＊ TOSHIBA Quad Core HD Processor内蔵モデルのみ

「TOSHIBA Upconvert Plug-in」の機能を使うと、「YouTube」の動画を高画質できれいな映像に変換し、全画面表示で再生することができます。

お願い

- 「YouTube」の動画によっては、「TOSHIBA Upconvert Plug-in」が適用されない場合があります。
  適用されない場合、「TOSHIBA Upconvert Plug-in」のボタンは表示されません。
- 本機能を利用するためには、「Internet Explorer 7」が必要です。
  また、「Adobe Flash Player 9」、または、「Adobe Flash Player 10」がインストールされている必要があります。
  「Adobe Flash Player」から出力された画像サイズが、240×100ピクセル以上、640×392ピクセル以下のものをサポートします。

「TOSHIBA Upconvert Plug-in」の起動方法

1 「Internet Explorer」を起動する

［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［Internet Explorer］をクリックしてください。

2 「Internet Explorer」のアドレスバーに「www.youtube.com」を入力し、［ENTER］キーを押す

「YouTube」のサイトが表示されます。
「YouTube」については、「www.youtube.com」の情報を確認してください。

3 見たい動画を再生する

4 タッチパッドまたはマウスを操作して、ポインタを再生されている映像にあわせる

映像の左上にボタン（Resolution+）が表示されます。

5 ボタン（Resolution+）をクリックする

「TOSHIBA Upconvert Plug-in」のヘルプの起動方法

1 ［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA］→［ユーティリティ］→［TOSHIBA Upconvert Plug-Inヘルプ］をクリックする

付録

本製品を使用するにあたってのお願いについて説明しています。

1 ご使用にあたってのお願い

お願い 本書で説明している機能をご使用にあたって、知っておいていただきたいことや守っていただきたいことがあります。次のお願い事項を、本書の各機能の説明とあわせて必ずお読みください。

1 大切な録画・録音・編集について

- 大切な録画・録音・編集の場合は、事前に試し録画・録音・編集を行い、正しくできることを確かめてください。
- 放送チャンネルや番組によっては、音量オーバーすると音が割れたり、音が飛んだりすることがあります。必要に応じて調整してください。

付録

2 テレビ視聴と録画について

- バッテリ駆動で使用中にテレビ視聴や録画を行うと、バッテリの消耗などによって画像がコマ落ちするおそれがあります。必ずACアダプタを接続して、使用してください。また、本製品の省電力機能が実行されないようにしてください。

参照 省電力機能について《パソコンで見るマニュアル（検索）：省電力の設定をする》

- 録画中や再生中にパソコン本体に振動や衝撃を加えると、映像がとぎれたり、停止したりしてしまうことがあります。

3 TVチューナに関するご注意

- 本製品のTVチューナはステレオ、音声多重対応です。CS放送、BS放送のチャンネルは受信できません。また地上アナログ放送のチャンネルも受信できません。
- 日本国外ではご使用になれません。日本国内でご使用ください。
- 本製品に内蔵されているTVチューナは仕様上、韓国への持ち込みと使用は韓国の法令により禁止されています。

4 B-CASカードについて

B-CASカードを取り扱うときは、次の点を守ってください。

- カード裏面の金メッキ端子部分に手を触れないこと。
- カードに衝撃を加えたり、折り曲げたりしないこと。

5 テレビアンテナの接続について

- ご家庭のアンテナ端子に接続するアンテナケーブルは、本製品に付属していません。ご家庭のアンテナ端子の形状にあった、ストレート型プラグの付いたアンテナケーブル（市販）をお買い求めいただき、ご準備ください。

6 リモコンの操作にあたって

- リモコンは本製品専用です。
- アプリケーションの中には、リモコン操作に対応していないものもあります。
- 本製品では、一部のリモコンボタンをサポートしておりません。

参照 リモコン機能の詳細《パソコンで見るマニュアル（検索）：リモコン操作一覧》

7 地上デジタル放送の録画について

- 地上デジタル放送の番組は、パソコン本体の内蔵ハードディスクに録画できます。DVDメディア等へ直接書き込むことはできません。
- 地上デジタル放送の録画ファイルは、録画したパソコンで「Qosmio AV Center」を使用した場合のみ再生できます。ほかの録画／再生機器や外付けHDD、パソコンなどにコピーまたは移動して再生することはできません（CPRM対応のDVD-RAMにコピー／移動することはできます）。
- 地上デジタル放送の録画ファイルは、「Qosmio AV Center」のコピー／移動（ムーブ）機能でデータをコピー／移動する場合を除き、バックアップをとることはできません。
- 地上デジタル放送の録画ファイルは編集できません。

8 「Qosmio AV Center」の使用にあたって

大切なお知らせ

■「Qosmio AV Center」ご利用にあたって

- 本製品では、セキュリティ保護などの性能向上のため、緊急にソフトウェアの更新を必要とすることがあります。その場合には、ソフトウェアのアップデートをお知らせするメッセージが表示されますので、表示にしたがってソフトウェアをダウンロードしてインストールを行ってください。メッセージに表示されている使用期限を過ぎると、ソフトウェアは使用できなくなりますので、期限までに新しいソフトウェアをダウンロードして、インストールしてください。なお、ソフトウェアをダウンロードするには、インターネットへの接続環境が必要です。
- 「Qosmio AV Center」で録画したテレビ番組などは、個人で楽しむ目的だけに使用できます。
- 必ずACアダプタを接続してご使用ください。バッテリ駆動で使用すると、バッテリの消耗などにより、録画が失敗したり、音が飛んだりするおそれがあります。

使用上のお願い

■大切な録画・録音・編集について

- すべての動作中に電源プラグを抜くと、記録内容がすべて消える場合がありますので、ご注意ください。
- 録画を予約した番組にコピープロテクトなどの録画制限があると予約録画が実行できない場合があります。録画予約の際には、録画制限がないことをお確かめください。

■Windowsの自動更新について

- Windowsの自動更新で、［更新プログラムを自動的にインストールする（推奨）］を選択している場合、スケジュールされた更新の時刻に新しい更新プログラムがインストールされます。
  更新プログラムの内容によっては、コンピュータが再起動されますが、「Qosmio AV Center」で、録画や予約録画、地上デジタル放送の録画データをDVDへコピー／移動している場合は、「Qosmio AV Center」が強制終了されてしまうため、録画や予約録画、DVDへのコピー／移動に失敗することがあります。
  「Qosmio AV Center」で録画や予約録画、DVDへのコピー／移動を行う場合には、あらかじめ自動更新によるコンピュータの再起動が行われないように、自動更新の［新しい更新プログラムのインストール］の設定時刻を変更してください。
  Windowsの自動更新の設定は、［スタート］ボタン（ ）→［コントロールパネル］→［セキュリティ］→［Windows Update］→［設定の変更］で行います。

■「Qosmio AV Center」全般に関すること

⚠警告

- **パソコン本体を航空機に持ち込む場合には、録画予約などの設定を解除すること**
  航空機内でパソコンが自動的に起動し、計器に影響を与える場合があります。
  次の説明に従って、録画予約などの設定を解除してから、航空機へ持ち込んでください。
  「Qosmio AV Center」は、以下の場合、パソコンの状態が電源オフ／スリープ／休止状態でも自動的に起動します。航空機等へパソコンを持ち込む場合は、必ず設定内容をご確認ください。
  - 予約録画実行時
    「録るナビ」で、録画予約が登録されている場合は、［予約詳細］画面の「実行」を［実行しない］に変更してください。なお、本確認後にメール予約を行う場合は、録画の開始時刻に十分ご注意ください。
  - 地上デジタル放送の電子番組表の情報取得時
    ［設定］画面の［その他の設定］で、「電子番組表の定期取得」を［しない］に変更する。
  - メール予約のためのメール取得時
    ［設定］画面の［メール予約設定］で、「メール予約」を［OFF］にしてください。

- 初めて「Qosmio AV Center」を起動したときは、地上デジタル放送の初期化処理を行うため、「Qosmio AV Center」の画面が表示されるまでに数分かかります（時間がかかる旨をお知らせするメッセージが表示されます）。「初期設定が完了しました。」というメッセージが表示されましたら、内容を確認して［OK］ボタンをクリックしてください。
- 「Qosmio AV Center」の起動処理中*にスリープや休止状態への移行を行うと、スリープや休止状態からの復帰時に「Qosmio AV Center」のエラーメッセージが表示されることがあります。この場合は、「Qosmio AV Center」をいったん終了した後、再度起動してください。
  スリープ、休止状態にしたいときは、「Qosmio AV Center」が起動した後、「Qosmio AV Center」を終了してから操作を行ってください。
  ＊「Qosmio AV Center」を起動した直後に、ディスプレイの中央付近に「Qosmio AV Center」のロゴ画面が表示されている状態

- ほかのアプリケーションが動作していると、音が飛んだり、映像が正しく表示されないなど、正常に動作しない場合があります。
- おすすめサービス、気になるリンク、ホットワードリンク、メール予約については、インターネットへのアクセスを行います。Windows Vistaのファイアウォール機能や「ウイルスバスター」などのファイアウォールソフトをお使いの場合は、アプリケーション（Qosmio AV Center）の通信を許可する設定にしてください。
- ホーム画面からほかのアプリケーションを起動する際や、「Qosmio AV Center」のアンインストール／インストール時などに、[ユーザー アカウント制御]画面が表示された場合は、そのメッセージを注意して読み、開始されようとしている操作またはプログラムの名前が、開始しようとしたものであることを確認してください。
  管理者アカウントでお使いの場合は、[続行]をクリックしてください。管理者アカウントのパスワードの入力を要求された場合は、パスワードを入力して[OK]をクリックしてください。
- テレビ視聴や録画ファイルの再生を「テレビ視聴」画面（全画面表示）で行っているときは、「テレビ視聴」画面が最前面に表示されるため、ヘルプやホットワードリンクの画面を表示することはできません。
- リモコンやフロントオペレーションパネルの[TV]ボタン、[CD/DVD]ボタンで起動したアプリケーションが最前面に表示されない場合は、デスクトップ画面下にあるタスクバーに表示されているアプリケーションのボタンか、アプリケーションのウィンドウのタイトル付近に、タッチパッドまたはマウスのポインタを合わせてクリックし、アクティブ表示にしてください。
- リモコンやフロントオペレーションパネルの[TV]ボタン、[CD/DVD]ボタンでパソコンを起動後に、[ロックしています]画面のまま一定時間が過ぎてからログオンすると、「Qosmio AV Center」などからメッセージが表示される場合があります。その場合は、メッセージ画面を閉じると、「Qosmio AV Center」をご使用になれます。
- Intel製グラフィックモデル（NVIDIA製グラフィックモデルは除く）では、ながら見モードの映像表示ウィンドウサイズは1280×720までとなります。

  参照 グラフィックの確認方法『いろいろな機能を使おう 3章 4 パソコンの画面をテレビに映す』

- 「Qosmio AV Center」は「Microsoft SQL Server 2005」プログラムを使用しています。このプログラムをアンインストールしたり、関連するサービスを停止したりしないでください。
- 「Qosmio AV Center」は、以下のプログラムを使用しています。これらのサービスは停止しないでください。
  - ・MSSQL$QOSMIOAVCENTER30（SQL Server（QOSMIOAVCENTER30））
  - ・TAVScheduler（Qosmio AV Center Scheduler Servise）
  - ・TAVComplementService（Qosmio AV Center Complement Service）
  - ・MSSQL$TOSVIDEOINDEXING（SQL Server（TOSVIDEOINDEXING））*1

  ＊1 TOSHIBA Quad Core HD Processor内蔵モデルのみ
- 「Qosmio AV Center」は「TOSHIBA Video Indexing Database」プログラムを使用しています。このプログラムをアンインストールしないでください。

- ホーム画面の［CD/DVD］、［音楽を聴く］メニューを実行して、対応するアプリケーションを起動すると、「Qosmio AV Center」は終了します。
  次の場合は、ホーム画面でこれらのメニューを実行しても、対応するアプリケーションは起動されません。
  ・「Qosmio AV Center」で録画中および録画準備中
  ・地上デジタル放送で録画したデータをDVDへコピー／移動中
- ウィンドウの色とデザインの設定（配色）は、Windows Aeroをご使用ください（購入時はWindows Aeroに設定されています）。その他の配色を設定した場合は、映像ファイルの再生ができなかったり、再生時に映像品質が劣化します。配色やWindows Aeroについては、『Windowsヘルプとサポート』を参照してください。
- 「Qosmio AV Center」の起動中は、PRTSCキーによる画面のコピー機能が無効になります。
- CPU使用率やメモリ使用量、ハードディスクへのアクセス頻度が高い状態で録画や再生を行うと、録画したデータがコマ落ちしたり、再生画面がコマ落ちすることがあります。コマ落ちした映像データを修復することはできません。録画中や再生中はほかのアプリケーションを使用しないようにするなど、負荷が高くならないようご配慮ください。

付録

■テレビの視聴と録画に関する注意事項

- テレビアンテナを正しく接続していないと、地上デジタル放送を視聴／録画することはできません。詳しくは、「1章 3 テレビアンテナを接続する」をご覧ください。
- アンテナケーブルを接続する順番や組み合わせによっては、電波が弱くなり、映像がちらついたり、画像のコマ落ちが著しく発生するなど、きれいに映らなかったりすることがあります。このようなときには、市販のアンテナブースタを接続してください。
- ユーザパスワード、スーパーバイザパスワードなど、電源投入時にパスワードを要求する環境下ではスリープからの予約録画が実行されません。
- 録画予約を設定する場合は、録画したデータの保存先（ハードディスク）の容量など、録画可能時間を確認してください。
- ハードディスクに録画用の空き容量がない場合はエラーメッセージが表示され、録画は開始されません。
- 9時間以上の連続録画はできません。
- 「見るナビ」に登録できる動画ファイル数は、最大で「地上デジタル放送の録画ファイル400件」です。最大件数登録されている場合は、録画できません。
- 録画予約を行う場合は、必ずパソコン本体の時計（日付と時刻）が正しく設定されていることを確認してください。
- 使用状況やシーンによっては映像がスムーズに再生されない場合があります。
- 「Qosmio AV Center」でテレビを視聴する、あるいは録画をするなどの動作中に、画面解像度や色数の設定変更は行わないでください。
- 録画予約する際、録画の時間帯が重複する予約録画を実行すると、録画開始時刻が優先されます。録画の時間帯が重複していると、番組が最後まで終了していなくても、次の予約録画の開始30秒前になると、今録画している番組の録画を終了し、次の録画を開始します。
  「録画開始時刻」が同じ場合は、先に登録された予約が優先されます。
  なお、ダブル地デジモデルでは、地上デジタル放送の番組2つの予約録画の時間帯が重複していても、両方の番組を同時に録画できます。3つ以上の予約録画の時間帯が重複した場合の動作については、「Qosmio AV Center」のヘルプをご覧ください。

- 「Qosmio AV Center」は予約録画実行時にパソコンが起動していない状態やログオフ状態でも、自動的に録画を開始します。ただし、パソコンの起動時にログオン画面やようこそ画面を表示する設定にしているときは、「Qosmio AV Center」の設定画面でログオン設定の「アカウント名」と「パスワード」を登録しておかないと予約録画が実行されません。
- 録画中および録画準備中は、「Qosmio AV Center」を終了することはできません。
「Qosmio AV Center」を終了させる場合には、録画を停止または録画予約をキャンセルしてから終了してください。また、録画中および録画準備中にWindowsの終了を行わないでください。
- 視聴中や再生中にスリープ／休止状態に移行した場合は、「Qosmio AV Center」は終了します。
- 録画中および録画準備中、ビデオ処理中*1にスリープにした場合、退席中モードに移行して録画を継続します（退席中モードでは、画面表示や音声出力がオフの状態になります）。ただし、バッテリ駆動時にスリープにした場合は、録画を停止し「Qosmio AV Center」が終了してからスリープに移行します。休止状態にした場合は、録画を停止し「Qosmio AV Center」が終了してから、休止状態に移行します（パソコン本体の電源スイッチを押したときやディスプレイを閉じたときに休止状態にする設定にしている場合も同様です）。
これらの操作を行った場合は、録画が中断されたり録画が実行されない場合がありますので、ご注意ください。録画中、録画準備中は、バッテリ駆動にしたり、休止状態に移行したりしないでください。休止状態にしたい場合は、録画を停止するか録画予約をキャンセルし、「Qosmio AV Center」を終了してから、休止状態にしてください。
＊1　TOSHIBA Quad Core HD Processor内蔵モデルのみ

参照 グラフィックの確認方法『いろいろな機能を使おう 3章 4 パソコンの画面をテレビに映す』

- スリープへの移行時間（[スタート]ボタン（ ）→［コントロールパネル］→［システムとメンテナンス］→［電源オプション］→利用する電源プランを選択し［プラン設定の変更］をクリック→［コンピュータをスリープ状態にする]）を購入時の設定から変更する場合は、「なし」または10分以上に設定してください。
これより短い時間に設定した場合は、「Qosmio AV Center」のモジュールが起動する前にスリープに移行してしまい、「Qosmio AV Center」が正しく動作しない場合があります。
- 再生するコンテンツによっては「早戻し」や「早送り」、「スロー再生」などの再生が正しくできない場合があります（タイムスタンプが不連続なものや、ネットワークのコンテンツなど）。
- 録画予約が入っているときにチャンネルの設定を変更すると、正常に録画できなくなるおそれがあります。
- 録画中にウイルス対策ソフトの予約検索が実行されると、正常に録画できないことがあります。録画や予約録画中に予約検索が実行されないよう、ウイルス対策ソフトの設定時刻などをご確認ください。

■地上デジタル放送全般と設定に関する注意事項

- 付属のB-CASカードを正しく装着していないと、地上デジタル放送を視聴／録画することはできません。詳しくは、「1章 2 B-CASカードをセットする」をご覧ください。
- お住まいの地域が地上デジタル放送の受信可能エリアでない場合、もしくは、受信可能エリアであっても電波が弱い場合や受信状態が悪い場合は、地上デジタル放送を視聴できない場合があります。詳しくは、「1章 5-1-1-地上デジタル放送が受信できなかった場合」をご覧ください。
- 周波数に変更があった場合は、チャンネルスキャンが必要です。詳しくは「Qosmio AV Center」のヘルプをご覧ください。

付録

- イベントリレー*1には対応していません。
- マルチビュー番組*2には対応していません。
- デジタルラジオ放送には対応していません（地上デジタル放送では、ラジオ放送は行われておりません）。
- ワンセグ（携帯電話・移動体端末向けのサービス）には対応していません。
- 緊急警報放送*3には対応していません。
- 臨時サービス*4には対応していません。
- 放送局によっては、データ放送を行っていない場合があります。
- データ放送表示中のキー操作は、番組によって異なる場合があります。
- データ放送の印刷には対応していません。
- 電話回線を使ったデータ放送の双方向サービスには対応していません。LAN、もしくはダイヤルアップによるインターネット接続にて対応しています。
- データ放送で双方向通信を行う場合、番組によってはルート証明書が必要になる場合があり、証明書のダウンロードが自動的に行われます。このとき、ポップアップメッセージが表示され音がします。
- データ放送で早押しゲームなどを行う場合、素早いボタン操作が要求されるコンテンツでは、お客様の意図した操作が行えず、意図したボタン操作とゲームなどの結果が合わないことがあります。
- 「TOSHIBA DVD PLAYER」などのほかのアプリケーションでビデオ機能を使用している場合は、地上デジタル放送を視聴／再生できない場合があります。ほかのアプリケーションでビデオ機能を使用していないか確認してください。

　＊1：高校野球中継のように、番組の途中でその続きを別のチャンネルで継続して放送する場合に、自動的にチャンネルを切り替えて視聴を継続する機能。
　＊2：同一チャンネルの放送波に複数の映像／音声が流され、放送局が意図する映像音声の組み合わせ単位で切替えができる番組。
　＊3：災害時の放送。緊急時に、放送中の番組を中断して放送される。
　＊4：通常の編成チャンネルとは別のチャンネルにおいて、臨時に放送される番組。

■地上デジタル放送の視聴と録画に関する注意事項

- 放送休止状態もしくは番組情報が正常に取得できない場合は、地上デジタル放送を視聴／録画できない場合があります。
- 「Qosmio AV Center」で録画した地上デジタル放送の番組は、録画を行ったパソコンでのみ再生可能です。ほかの機種にファイルをコピーしても再生することはできません。
- 録画されたデータ放送は、番組によっては無意味な場合があります（クイズやアンケートの回答などリアルタイム性の要求される内容の場合）。
- 予約録画準備中（録画開始時刻の約30秒前から録画開始までの間）は、「Qosmio AV Center」を終了したり、予約録画をキャンセルしたりすることはできません。
- 5.1chサラウンド放送の音声は、2chに変換されて出力されます。
- AVアンプなどに対して、音声ストリームをAACのコーデックのまま出力を行うことはできません。5.1ch音声は2chに変換されてPCMで出力されます。

- パソコンがスリープ／休止状態のとき、リモコンやフロントオペレーションパネルの［TV］ボタンから地上デジタル放送の視聴を開始すると、「TV視聴できない状態にあります。アプリケーションを終了してディスプレイの設定を確認してください。」とメッセージが表示されることがあります。この場合は、「Qosmio AV Center」をいったん終了したあと、再度起動してください。
  ただし、外部映像出力しているときは、「Qosmio AV Center」を終了・起動してもメッセージが表示されますので、ディスプレイの設定を確認してください。詳細は「Qosmio AV Center」のヘルプを参照してください。
- 録画や予約録画を行う際、録画開始時に放送が休止されていた場合や、放送波の受信レベルが低い場合、テレビアンテナが抜けていた場合は、正常に録画できないことがあります。また、録画や予約録画の開始後に、テレビアンテナが抜けたときや、電波状況の悪化により放送波を受信できなかった場合は、受信できなかった部分は静止画（音声なし）で録画されます。また、「見るナビ」に表示される録画時間が予定されていた時間より短くなることがあります。地上デジタル放送の録画や予約録画を行う場合は、地上デジタル放送を受信できていること、テレビアンテナが正しく接続されていることを確認してください。

付録

■地上デジタル放送の録画ファイルのDVDコピー／移動に関する注意事項

- CPRM（Content Protection for Recordable Media）という著作権保護技術に対応したDVD-RAMにのみ、ダビング（コピー／移動（ムーブ））ができます。
- 本機能は、ハードディスクに保存されている地上デジタル放送録画データ（以下、録画データ）をDVD-RAM（CPRM対応）へダビングする機能です。
  DVD-RAMへのダビングを開始した時点で、コピーの場合は対象となった録画データの残りコピー回数は減り、移動の場合はハードディスク内の録画データは消去されますのでご注意ください。
  一度DVD-RAMへダビングした録画データは、ほかのDVD-RAMへのコピーやハードディスクに戻すなど、更にコピー、移動することはできません。
- ハードディスク内のHDの録画データは、通常（SD）の画質に変換されてDVD-RAMにダビングされます。
- 録画データ中のサラウンド音声はステレオ音声に変換されてDVD-RAMにダビングされます。
- 録画データ中の番組情報・出演者情報等やデータ放送のデータ、字幕および文字スーパーは、DVD-RAMにはダビングされません。
- TOSHIBA Quad Core HD Processorが内蔵されていないモデルの場合、録画データのDVD-RAMへのダビング処理には、長時間かかります（録画データの長さの2倍程度）。
  （例：1時間の録画データのダビングに、2時間程度かかります。）
- TOSHIBA Quad Core HD Processor内蔵モデルの場合、DVD-RAMへのダビングの際に、ハードディスク上のコンテンツより高いビットレートを指定しても、画質は上がりません。
- 必ずACアダプタを使用してパソコン本体を電源コンセントに接続した状態で行ってください。本機能をバッテリ駆動で実行しないでください。

- 録画データのダビングを開始後、次のような場合にDVDへのダビングが中断されますので、十分注意してください。
  ①ユーザ操作によってダビング処理が途中で中止された場合（途中で［キャンセル］ボタンが押された場合）、コピーのときは対象となった録画データのコピーできる回数が1回分減り、移動のときはハードディスク内の録画データが削除されます。
  ②ダビング処理中にDVD-RAM書き込みエラー等、何らかのエラーが発生した場合や、電源オフ／シャットダウン／ログオフ／スリープ／休止状態／再起動を実行した場合、Windows Updateにより自動的に再起動された場合、コピーのときは対象となった録画データのコピーできる回数が1回分減り、移動のときはハードディスク内の録画データとDVD-RAM内に移動途中のデータの両方が削除されます。
- 1枚のDVD-RAMに収まらない場合は、複数枚のDVD-RAMに連続して記録します。
  必要数のDVD-RAM（CPRM対応）を準備してください（必要枚数は、画面に表示されます）。
- 1枚目のみ、すでにデータが記録（DVD-VRフォーマット）されているDVD-RAMに追記することができます。2枚目以降は、データの記録されていないDVD-RAM、または、フォーマットによるデータ消去をしても構わないDVD-RAMを準備してください。
- ダビングしている最中に、ドライブの取り出しボタン(イジェクトボタン)を押さないでください。ダビング中にディスクが取り出されると、ダビング対象となった録画データの残りコピー回数は減り、移動中はハードディスク内の録画データとDVD-RAM内にダビング中のデータの両方が削除されますのでご注意ください。
- ダビングしている最中にCD／DVD書き込みソフトやCD／DVD再生ソフトなどを起動・操作しないでください。その他、DVDへのファイルのコピー、移動および削除、DVD上のファイルの読み書きをしないでください。録画データのダビング中にこれらの操作を行うと、DVDへのダビングに失敗することがあります。失敗してしまった場合、コピーのときはコピーできる回数が1回分減り、移動のときはハードディスク内の録画データとDVD-RAM内に移動途中のデータの両方が削除されますのでご注意ください。
- 使用するDVD-RAMに、傷や指紋などの汚れがないことを確認してください。
  記録メディアに傷や汚れがあると、正常に記録できないことがあります。また記録が正常に終了しても、再生が正常にできなくなることがあります。
- 何回も使用したDVD-RAMにダビングした場合、記録メディアの記録品質の劣化などの理由で正常に再生できない場合があります。大切なデータは、新しいDVD-RAMを使用して、ダビングするようにしてください。
- まれに家庭用DVDビデオレコーダで、タイトルの追記･削除が正常にできないことがあります。家庭用DVDビデオレコーダで追記・削除できなくなった記録メディアを使用するためには、フォーマットをしてください。
- 追記の場合、記録メディアの残り容量をよく確認してください。容量が極端に少ない場合、1枚目に記録されるデータも短くなります。また、記録メディアは最後まで記録せず、空き容量として数十MBを残します。
- 「DVDへコピー」または「DVDへ移動」を実行して表示される画面上や「Qosmio AV Center」のヘルプに記載されている注意事項も、必ずお読みください。

■「データ放送」について

- 複雑なデータ放送を表示しているときは、映像がコマ落ちしたり乱れる場合があります。そのような場合は、データ放送を非表示にしてご覧ください。

■「ながら見モード」について

- 「ながら見モード」でテレビを視聴しているときにほかのアプリケーションが動作していると、音が飛んだり、映像が正しく表示されないなど、正常に動作しない場合があります。

■「気になるリンク」に関する注意事項

- 「気になるリンク」は地上デジタル放送の番組視聴中（録画中の番組の視聴も含む）または地上デジタル放送の録画番組の再生中に、利用することができます（早戻し・早送り・スロー再生中は「気になるリンク」は利用できません。）。
- キーワード検索を行うには、インターネットへの接続環境が必要です。
- 表示されるキーワードは、東芝独自の技術に基づき機械的に抽出されます。表示されるキーワードや情報は、放送される番組と関連のないものや、不適切なものが含まれる場合があります。
- 「気になるリンク」のキーワード検索機能をお使いになると、インターネットに接続しキーワード検索を行うことができますが、検索結果として表示されるサイトのなかには、有害なホームページもあります。
  有害なホームページへのアクセスを制限したい場合には、『安心してお使いいただくために』に記載されている「青少年がおられる家庭の皆様へ　～ 重要なお知らせとお願い」をお読みになり、有害なホームページへのアクセスを制限する「i-フィルター5.0」を使用することをおすすめします。

付録

■外部出力に関する注意事項

- 「Qosmio AV Center」の画面を外部ディスプレイやテレビに出力させた場合、出力先で正しく表示されない場合があります。
- 「Qosmio AV Center」の画面を外部ディスプレイやテレビに出力する場合、必ず、視聴／再生する前に、表示装置や解像度の切り替えを行ってください。視聴／再生中は表示装置や解像度を切り替えないでください。
- クローン表示／デュアルビュー表示でも出力できますが、映像がスムーズに表示されない場合があります。その場合は、片方にのみ表示してください。
- 地上デジタル放送の番組や録画ファイルを、テレビや外部ディスプレイに出力する場合、出力可能な端子は番組によって異なります。また、番組によっては出力できない場合があります。
- 地上デジタル放送の番組や録画ファイルをテレビなどの外部機器に出力する場合、外部機器とパソコン本体のディスプレイの解像度が異なる場合は、画像の出力先を切り替えると正しく表示されないことがあります。

電子番組表利用時の注意事項

■地上デジタル放送の「番組ナビ」ご利用に関する注意事項

- 地上デジタル放送の電子番組表は、放送波のみ対応しています。インターネットなどで提供される番組表には対応していません。
- 電子番組表の情報取得の設定時刻は、購入時の設定で午前0時20分です。パソコンの状態が電源オフ／スリープ／休止状態の場合でも、パソコンが自動的に起動し、音が鳴ります。購入時の設定時刻は、最新の情報を取得できる時間帯です。ご利用状況に合わせて設定時刻を変更してください。
- パソコンの時計（日付と時刻）と放送波の時計が大きくずれていると、予約録画に失敗することがあります。「設定」の「その他の設定」画面の「システム時刻設定」を「地上デジタル放送波で調整する」に設定しておくことをおすすめします。

- 地上デジタル放送の場合、番組についての情報（番組名や放送時間など）が放送電波の中に入って送られてきます。「Qosmio AV Center」は、その番組情報を取得して、番組表表示やジャンル検索、録画予約などに利用します。そのため、番組情報の取得ができていないときには、番組表が正しく表示されない場合があります。
- 臨時サービス、エンジニアリングダウンロードサービス、部分受信サービスなどは番組表に表示されません。
- 番組表で表示できるのは最大7日後までですが、放送局やチャンネルによって異なる場合があります。これは、電子番組表の情報取得時刻に、地上デジタル放送のテレビ視聴や予約録画で「Qosmio AV Center」が動作していると、番組表のデータが取得できないことがあるためです。
- 番組が予告なく変更されたために、番組表の情報が実際の番組と異なってしまうことがあります。

■地上デジタル放送の電子番組表を利用するにあたって

- 「設定」の「その他の設定」画面で地上デジタル設定の「電子番組表の定期取得」が「する」に設定されている場合は、「電子番組表の取得開始時刻」で設定された時刻に、番組表のデータ取得（ダウンロード）を開始します。パソコンの状態が電源オフ／スリープ／休止状態でも、自動的に起動してデータを取得します。
  パソコンを自動的に起動させたくない場合は、「電子番組表の定期取得」を「しない」に設定してください。「しない」に設定した場合、定期的なデータ取得は行われませんが、地上デジタル放送の放送波からデータを取得可能です。
- 電子番組表の全データを取得するために最大で2時間程度かかることがあります。
  電子番組表のデータは、地上デジタル放送の電波が受信できれば自動更新されますが、地上デジタル放送を視聴中または録画中は、視聴／録画しているチャンネル以外のデータを取得できないことがあります。また、「設定」の「その他の設定」画面で「電子番組表の定期取得」が「する」に設定されている場合は、電子番組表の情報取得開始時刻に、地上デジタル放送のテレビ視聴や予約録画で「Qosmio AV Center」が動作していると、番組表のデータが取得できないことがあります。
  電子番組表の全データを取得したい場合や、電子番組表の情報取得開始時刻に「Qosmio AV Center」を起動している場合は、地上デジタル放送のテレビ視聴や録画を行わない状態（ホーム画面、録画ファイルの再生など）で、2時間程度お待ちください。
- 電子番組表の情報取得の設定時刻には、必ずテレビアンテナを接続しておいてください。テレビアンテナが抜けた場合など、放送波の受信レベルが低い場合は、電子番組表を更新できないため、予約録画が正しく行えないことがあります。

■電子番組表から録画予約する

- 予約録画を行うときは、パソコンの時計（日付と時刻）を正しく設定してください。
  また、録画予約の実行中に、パソコンの時計を変更しないでください。

■iNETご利用時の制限事項

- 動作環境にすべて合致していても正常に動作しない場合や、何らかの不具合が発生することがあります。すべての環境での動作を保証するものではありません。
- 「Qosmio AV Center」の通信状態によっては、表示が遅くなったり、表示や通信エラーが発生する場合があります。
- プロバイダ（インターネット接続業者）側の設定や制限によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。

- 電話通信事業者およびプロバイダとの契約費用および通信に使用される通信費用は、お客様ご自身でお支払いください（携帯電話によるメール予約の送受信費用も含む）。
  なお、プロバイダ指定の回線接続機器（ADSLモデムなど）に10BASE-Tまたは100BASE-TXなどのLANポートがない場合は、接続できません。
- ADSLでご利用いただくには、ADSLモデムが必要です。通信事業者やプロバイダが採用している接続方式・契約借款などによって、「Qosmio AV Center」をご利用いただけない場合や同時接続する台数に制限や条件がある場合があります（契約が1台に制限される場合、すでに接続されている別のパソコンがあると、「Qosmio AV Center」搭載のパソコンを2台目として接続することが認められないことがあります）。
- プロバイダによってはルータの使用を禁止、あるいは制限している場合があります。
- ネットワークの通信状況によっては、番組情報が更新あるいは取得できない場合があります。
- 番組データは以下の場合に、一度空の状態になります。次回番組表や番組リストを表示するときにデータを取得し、再表示ができます（再表示できるまで数分かかります。待ち時間は環境によって異なります）。
  - ・パソコンの時計（日付と時刻）を変更した場合
  - ・「地域チャンネル設定」でチャンネルスキャンを行った場合
  - ・「Qosmio AV Center」を再インストールした場合

■おすすめサービスに関する注意事項

- 本サービスをご利用になるには、インターネットの常時接続環境が必要です。
- 本サービスをご利用になるには、iNET電子番組表をご利用いただく必要があります。
- 「おすすめサービス」の画面から地上デジタル放送の番組を録画予約する場合、「おすすめサービス」の画面に表示されている番組の放送時間をもとに、地上デジタル放送の電子番組表を検索します。そのため、番組情報を取得できなかったり同一の番組が取得できない場合があります。
- 本サービスは、iNET電子番組表システム（以下、iNETサービスと呼びます）を利用されているお客さまが予約、録画された番組名や番組説明情報などを集計し、毎日更新される全国の予約ランキング情報や、お客さまの好みに合わせた推薦番組の情報を、サーバで集計のうえ、お使いの録画機器に配信するものです。
  なお、集計および番組の推薦は、サーバへのアクセス数、およびソフトウェアが生成した機器固有のID番号のみから行いますので、本サービスのご利用により、お客さまのお名前等、個人情報が特定されることはありません。これらの情報は、お客さまのさらなる便宜を図るためや、サービスとして利用する場合があります。
- 本サービスメニューは予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本サービスは、お客さまへの予告無く一時停止したり、終了する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 「予約ランキング」は本サービス設定のあと、iNET電子番組表更新後に表示されます。
- 「あなたのおすすめ」「みんなからのおすすめ」は利用設定後に録画予約、録画を行うと、数日程度でiNET電子番組表更新後に表示されるようになります。
- お客さまのおすすめサービス情報をリセットするには「おすすめ設定」の「おすすめサービス」を「利用しない」に設定してください。
  情報をリセット後、改めてサービスの利用を開始するには、再び「おすすめ設定」の「おすすめサービス」を「利用する」に設定し、録画予約、録画を行ってください。数日程度で「あなたのおすすめ」や「みんなからのおすすめ」が表示されるようになります。

- 本サービスを2カ月以上ご利用されなかった場合、お客さまのおすすめサービス情報は自動的にリセットされ「あなたのおすすめ」や「みんなからのおすすめ」は表示されません。
- 「Qosmio AV Center」をアンインストールした場合、お客さまのおすすめサービス情報は自動的にリセットされ、お客さまの好みに合わせた「あなたのおすすめ」や「みんなからのおすすめ」は表示されません。
- チャンネル設定で選択した地域によって、表示される番組が異なります（その地域で視聴可能な番組を表示するためです）。
- 本パソコンの録画や予約状況によっては、番組リストに番組が表示されない場合や、表示されるまで数日かかる場合があります。
- 本サービスはインターネットを介してデータの取得を行います。ネットワークの通信状況によっては、最新データを取得できない場合があります。その場合は、メッセージが表示され定期的に取得したデータを表示します。最新データを取得できないことが多い場合は、「設定」の「その他の設定」画面で「おすすめデータ取得設定」を「定期的に取得したデータを表示」に変更してください。
- おすすめサービスの設定を「利用する」から「利用しない」に変更した場合、サービスご利用時に蓄積された番組の嗜好情報などのデータは削除されます。再度「利用する」に設定した際に、以前にご利用時のデータはおすすめ番組の結果に反映されません。

9 「顔deナビ」の使用にあたって

＊TOSHIBA Quad Core HD Processor内蔵モデルのみ

- 「Qosmio AV Center」で「顔deナビ」を起動しているときに、「Graphical Video Library」から「顔deナビ」は起動できません。「Graphical Video Library」で「顔deナビ」を起動しているときに、「Qosmio AV Center」から「顔deナビ」は起動できません。
- 番組・CMの長さや内容によっては、CM区間と番組本編とが正しく検出されないことがあります。また、CMのないコンテンツでもCMとして誤って検出することがあります。
- 顔deナビデータの作成において、水音やエンジン音など歓声や拍手の音と類似しているものを、誤って検出することがあります。
- 顔deナビデータの作成において、楽器・音楽の種類や、他の音の大きさによっては音楽の鳴っている区間を正しく検出できないことがあります。
- 顔deナビデータの作成において、顔の大きさ、向き、ピントなどの条件によって、顔を顔として検出できない場合があります。また、顔以外のものを顔として検出してしまうこともあります。
- 省電力設定がされている場合、システムの処理能力が不足し、顔deナビデータの作成に失敗することがあります。

10 DVDの再生にあたって

本項では、「DVD」と記載している場合、特に書き分けのある場合を除き、DVD-Videoフォーマットまたは DVD-VRフォーマットで記録されたディスクを示します。

- 使用するDVDディスクのタイトルによっては、コマ落ちする場合があります。
- 家庭用DVDレコーダで録画した、ファイナライズされていないDVDはパソコンで再生できない場合があります。

● DVDの再生には、「TOSHIBA DVD PLAYER」を使用してください。
「Windows Media Player」やその他市販ソフトを使用してDVDを再生すると、表示が乱れたり、再生できないことがあります。このようなときは、「TOSHIBA DVD PLAYER」を起動し、DVDを再生してください。
● DVD再生ソフト「TOSHIBA DVD PLAYER」では、DVD-VideoとDVD-VRの再生ができます。Video CD、Audio CD、MP3の再生はサポートしていません。
● DVD再生時は、なるべくACアダプタを接続してください。省電力機能が働くと、スムーズな再生ができないことがあります。バッテリ駆動で再生するときは電源プランで「高パフォーマンス」を選択してください。
● DVDを再生する前に、ほかのアプリケーションを終了させてください。また、再生中にはほかのアプリケーションを起動させたり、不要な操作は行わないでください。
● 「TOSHIBA DVD PLAYER」の起動中は、スリープ、休止状態を実行しないでください。
● 「TOSHIBA DVD PLAYER」の起動中は、コンピュータのロック状態に移行する操作（ + L キーまたは FN + F1 キーを押す）をしないでください。
● Region（リージョン）コードは4回まで変更することができますが、通常は出荷時のままご利用ください。出荷時の状態では、Regionコードが「2」に設定されておりますので、Regionコードが「2」または「ALL」のDVD-Videoをご使用ください。
● 外部ディスプレイまたはテレビに表示するときは、再生する前にあらかじめ表示装置を切り替えてください。また、クローン表示設定でDVDを再生することはできません。

参照 表示装置の切替え『いろいろな機能を使おう 3章 4 パソコンの画面をテレビに映す』

● 外部ディスプレイ側の解像度やリフレッシュレートが高い場合、DVD再生画像が正常に表示されないことがあります。その際はいったん再生を終了し、外部ディスプレイ側の解像度、リフレッシュレートや色数を下げてご使用ください。

その他の注意については、「TOSHIBA DVD PLAYER」のヘルプに記載しています。
「TOSHIBA DVD PLAYER」のヘルプの起動は、[スタート] ボタン（ ）→ [すべてのプログラム] → [TOSHIBA DVD PLAYER] → [TOSHIBA DVD PLAYER ヘルプ] をクリックしてください。

■アップコンバート機能について

＊ TOSHIBA Quad Core HD Processor内蔵モデルのみ

● アップコンバート機能を有効に設定している場合、再生できるタイトルや使用できる機能に制限があります。
● アップコンバート機能は、「TOSHIBA Quad Core HD Processor」を使用して映像を再生します。他のアプリケーションによって「TOSHIBA Quad Core HD Processor」が使用されている場合は、アップコンバート機能は使用できません。
● アップコンバート機能を有効にして再生する場合は、必ずACアダプタを接続してください。
● アップコンバート機能を有効にした映像を外部ディスプレイやテレビでご覧になるには、HDCP対応のHDMI入力端子のあるディスプレイやテレビが必要です。
● アップコンバート機能は、本体液晶ディスプレイまたは、HDMI出力端子に接続したテレビにのみ表示できます。RGBコネクタに接続した外部ディスプレイには、表示させることができません。

11 記録メディアへの書き込み／ハードディスクへの書き出しについて

CD／DVDへの書き込み／ハードディスクへの書き出しを行うときは、次の注意をよく読んでから使用してください。守らずに使用すると、書き込み／書き出しに失敗するおそれがあります。また、ドライブへのショックなど本体異常や、記録メディアの状態などによっては処理が正常に行えず、書き込み／書き出しに失敗することがあります。

■記録メディアへの書き込み／ハードディスクへの書き出しを行うにあたって

- 地上デジタル放送の番組を、DVDメディアなどへ、直接書き込んだりコピー・移動することはできません。なお、「Qosmio AV Center」で録画した地上デジタル放送の番組は、CPRMに対応したDVD-RAMへコピー／移動することができます。
- バッテリ駆動で使用中に書き込みを行うと、バッテリの消耗などによって書き込みに失敗するおそれがあります。必ずACアダプタを使用してパソコン本体を電源コンセントに接続してご使用ください。
- 書き込みを行うときは、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。また、電源オフ／スリープ／休止状態／再起動を実行しないでください。

参照 省電力の設定について《パソコンで見るマニュアル（検索）：省電力の設定をする》

- 次に示すような、ライティングソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。
  - ・音楽CD／DVDの再生アプリケーション
  - ・スクリーンセーバ
  - ・ディスクのアクセスを高速化する常駐型ユーティリティ
  - ・ウイルスチェックソフト
  - ・モデムなどの通信アプリケーション　　など

  ソフトウェアによっては動作の不安定やデータの破損の原因となるので、使用しないことを推奨します。
- タッチパッドを操作する、ウィンドウを開く、ユーザを切り替える、画面の解像度や色数の変更など、パソコン本体の操作は行わないでください。
- 次の機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。
  USB対応機器、外部ディスプレイ、テレビ、i.LINK対応機器、SDメモリカード、SDHCメモリカード、メモリースティック、xD-ピクチャーカード™、マルチメディアカード、ExpressCard、光デジタル対応機器、マイク入力端子に接続する機器
- パソコン本体から、携帯電話およびほかの無線通信装置を離してください。
- SDメモリカード、SDHCメモリカード、USB接続などのハードディスクドライブなど、本製品の内蔵ハードディスク以外の記憶装置にあるデータを書き込むときは、データをいったん本製品の内蔵ハードディスクに保存してから書き込みを行ってください。
- LANを経由する場合は、データをいったん本製品の内蔵ハードディスクに保存してから書き込みを行ってください。
- パソコン本体に衝撃や振動を与えないでください。
- 重要なデータについては、書き込み終了後、必ずデータが正しく書き込まれたことを確認してください。
- CD／DVDに書き込みを行うときは、市販のライティングソフトウェアは、使用しないでください。
- CD／DVDに書き込むときには、それぞれの書き込み速度に対応し、それぞれの規格に準拠した記録メディアを使用してください。また、推奨するメーカのメディアを使用してください。

■作成したDVDについて

- 作成したDVDは、一部の家庭用DVDビデオレコーダやパソコンでは再生できないこともあります。また、作成したDVD+R DLメディア、DVD-R DLメディアを再生するときは、それぞれの記録メディアの読み取りに対応している機器を使用してください。
- 作成したDVDを本製品で再生するときは、「TOSHIBA DVD PLAYER」を使用してください。「Windows Media Player」やその他の市販ソフトを使用して再生すると、表示が乱れたり、再生できない場合があります。

■映像データをDVDに書き込む前に

- DVDに書き込みを行うときには、それぞれの規格に準拠した記録メディアを使用してください。また、推奨するメーカの記録メディアを使用してください。なお、再生する機器に応じて、その機器の取扱説明書でも推奨される記録メディアを使用してください。守らずに使用すると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ドライブへのショックなど本体異常や、記録メディアの状態などによっては処理が正常に行えず､書き込みに失敗することがあります。
- 本製品に付属の「DVD MovieWriter」以外の映像データライティングソフトウェアは動作保証していません。

付録

■「DVD MovieWriter」のムービー作成について

- ムービー作成では-VRフォーマット、+VRフォーマットでの書き込みはできません。
- DVD-AudioやVideo CD、miniDVDを作成することはできません。
- DVDへ書き込みを行うには、映像データのサイズの約2.5倍以上の空き容量がハードディスクに必要です。あらかじめハードディスクの空き容量を確認してください。使用する映像ファイルや編集のしかたによって、必要な空き容量が異なります。
- DVDに映像データを書き込む場合、映像データの大きさや編集のしかたによってはデータの変換に数時間かかることがあります。

12 「DVD MovieWriter」の使用にあたって

- 「DVD MovieWriter」はコンピュータの管理者アカウントで使用してください。
- 本製品にインストールされていない、その他の映像データを取り込むソフトウェアは使用しないでください。
- 「TOSHIBA DVD PLAYER」などの映像を再生するアプリケーションが動作していると、編集中のプレビューが正しく表示されないことがあります。編集中はほかのアプリケーションを終了してください。
- 編集中のプレビューは本体液晶ディスプレイにのみ表示されます。外部ディスプレイには表示されません。
- 著作権保護された映像が保存されているDVDの映像の編集は行えません。
- 著作権保護されているコンテンツは再生できません。
- 「DVD MovieWriter」の動作中は、画像の解像度・色数の変更は行わないでください。
- 「DVD MovieWriter」では、ソース（映像ファイル）のビットレートによっては、1枚に圧縮できない場合があります。
- ［Corel Label@Once］画面でのDVDラベルの作成は、必ずレーベル面に直接印刷できるプリンタと記録メディアをご利用ください。市販のラベルシールを貼付したDVDをご利用になると、ドライブの故障の原因になります。市販のラベルシールは使用しないでください。

13 「TOSHIBA Disc Creator」を使うために

使用できる記録メディアについては、『準備しよう 4章 大切なデータを失わないために』の「TOSHIBA Disc Creator」にあてはまる部分をご覧ください。

- 本製品に付属している「TOSHIBA Disc Creator」を使用してDVD-Video、DVD-VR、DVD-Audioを作成することはできません。
- 「TOSHIBA Disc Creator」を使用してDVD-RAMにデータを書き込むことはできません。

■データCD／DVDを作るにあたって

- 「TOSHIBA Disc Creator」で、重要なデータを書き込む場合は、次の設定を行ってください。正常に書き込まれていることを確認できます。

①「TOSHIBA Disc Creator」を起動し、［データCD/DVD作成］をクリックする

②［ディスク作成モードの設定ダイアログ］ボタン（ ）をクリックする

［データCD/DVD設定］画面が表示されます。

③［データチェック］の［書き込み後にデータをチェックする］と［詳細チェック］をチェックする

④［OK］ボタンをクリックする

付録

14 レグザリンクについて

- レグザと本製品が正しく接続されているにも関わらず、レグザに付属のリモコンから本製品の操作ができない場合は、一度本製品を再起動し、HDMIケーブルをはずしてから、つなぎなおしてください。

レグザからパソコン本体の電源を操作するには

- レグザから操作して、本製品の電源を入れたり切ったりすることができます。

①［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA］→［ユーティリティ］→［HDMI 連動設定］をクリックする

［HDMI 連動設定］画面が表示されます。

②機能を有効にする場合は、［HDMI 連動を有効にする］と［HDMI 連動対応のテレビから本機の電源のオン、オフをできるようにする］をチェックする

機能を使わない場合は、チェックをはずしてください。

③［OK］ボタンをクリックする

パスワードの入力について

- パスワードの入力を求められた場合、レグザからパスワードを入力することはできません。

参照 Windows ログオンパスワードについて
『Windows ヘルプとサポート』
《パソコンで見るマニュアル（検索）：Windows ログオンパスワード》

15 「Windows Media Center」の使用にあたって

- 「Windows Media Center」を起動する前に、ほかのアプリケーションを終了させてください。起動中にはほかのアプリケーションを起動させたり、不要な操作は行わないでください。

さくいん

ナ

ハ

ホ

リ

レ

ロ

G50/9＊Jシリーズ、G50W/9＊JWシリーズ、
F50/8＊Jシリーズ、F50W/8＊JWシリーズ

dynabook Qosmio 映像と音楽を楽しもう

平成21年3月10日　第1版発行　GX1C000MF610

発行　株式会社東芝 PC&ネットワーク社

PC第一事業部　〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1

この取扱説明書は植物性大豆油インキを使用しております。
この取扱説明書は再生紙を使用しております。

東芝PC総合情報サイト

http://dynabook.com/

東芝PCあんしんサポート

技術的なご質問、お問い合わせ、修理のご依頼をお受けいたします。

全国共通電話番号 **0120-97-1048**（通話料･電話サポート料無料）

おかけいただくと、アナウンスが流れます。
アナウンスに従ってご希望の窓口に該当する番号をプッシュしてください。

電話番号は、お間違えのないよう、ご確認の上おかけください。
海外からの電話、携帯電話、PHSまたは直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTEL 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。
ご相談の内容により、別のサポート窓口をご案内する場合がございます。
技術相談窓口受付時間：9：00～19：00（年中無休）
修理相談窓口受付時間：9：00～22：00（年末年始12/31～1/3を除く）

▼インターネットで修理のお申し込み

http://dynabook.com/assistpc/repaircenter/i_repair.htm

お問い合わせの詳細につきましては、『東芝PCサポートのご案内』をご参照ください。

・本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
・本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
・落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

株式会社 東芝 PC&ネットワーク社

PC第一事業部 〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1

GX1C000MF610
Printed in China